

市民負担・市民サービスの変遷

それぞれの市町村で差異があった市民負担・市民サービスについては、合併を契機に、その大半を宗像市の基準に合わせて調整しました。

また、合併時から現在に至るまでも、国の法改正による市民税税率の改正や行財政改革の一環による手数料の改正など、合併に直接起因しない要因で市民負担・市民サービスの内容は変化しています。

市民負担・市民サービスについて、合併前後の変化と、合併時から現在までの変遷を、それぞれの市町村ごとに確認していきます。

各表の左欄は、合併前の旧市町村の状況と合併後の新市の状況を比較したもの、右欄は合併前の旧市町村の状況と平成25年4月1日現在の状況を比較したものです。

1 税負担等

① 市税

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
個人市民税税率 及び非課税基準	変化 なし	負担 増加	負担 増加	判定理由	判定理由	判定理由
				均等割の年税額は、宗像地域で2,500円、 玄海地域で2,000円、大島地域で2,000円で したが、合併後に2,500円となりました。 均等割非課税基準となる合計所得金額は、 玄海地域、大島地域で280,000円から 315,000円となりました。	平成16年度の地方税法の改正により、均等 割の年税額が3,000円に改正されました。	
法人市民税	変化 なし	負担 増加	負担 増加	判定理由	判定理由	判定理由
				玄海地域、大島地域の法人税割について は、12.3%の標準税率が、14.7%の制限税率 となりました。 均等割については、旧市町村にまたがって 複数の事業所を有する場合は新市のみへの 納付となりました。	合併時に左記のとおり調整し、その後現在ま で、法人市民税に変化はありません。	
固定資産税	変化 なし	負担 増加	負担 増加	判定理由	判定理由	判定理由
				玄海地域、大島地域の雑種地評価を宗像 地域の評価方法に合わせたことにより、雑種 地所有者の固定資産税が増加しました。 なお、増税については、玄海地域は平成18 年度評価替えから、大島地域は平成21年度 評価替えからといった、段階的措置をとった 。	合併時に左記のとおり調整し、その後現在ま で、固定資産税に変化はありません。	
都市計画税	変化 なし	変化 なし	変化 なし	判定理由	判定理由	判定理由
				玄海地域は、都市計画区域の線引きに伴い 全域が市街化調整区域となる見込みです。そ のため、都市計画税の対象地域に該当せ ず、宗像地域の市街化区域のみの課税となり 合併後も変化はありません。	合併時に左記のとおり調整し、その後現在ま で、都市計画税に変化はありません。	
特別土地保有税	変化 なし	変化 なし	変化 なし	判定理由	判定理由	判定理由
				政令により課税を停止しているため、住民負 担の変化はありません。	現在まで、特別土地保有税に変化はありま せん。	

② 介護保険料

項目名	旧市町村と新市の比較				旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			
	宗	玄	大	判定理由	宗	玄	大	判定理由
介護保険料	負担増加	負担増加	負担減少	玄海地域、大島地域では、介護保険料普通徴収に係る納期が8期から6期に減少しました。 宗像地域では、介護保険料基準額が3,000円から3,260円となりました。 玄海地域では、介護保険料基準額が2,908円から3,260円となりました。 大島地域では、介護保険料基準額が3,940円から3,660円となりました。	負担増加	負担増加	負担増加	介護保険料普通徴収に係る納期については、合併時の6期から9期に増加しました。 介護保険料基準額については、平成21年度に所得段階を細分化し、その後、介護給付費の増大により4,400円となりました。 また、第二号被保険者については、平成25年度の国民健康保険税条例の改正により、所得割0.8%、均等割9,200円、限度額80,000円から所得割2.2%、均等割14,200円、限度額120,000円となりました。

③ 国民健康保険税

項目名	旧市町村と新市の比較				旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			
	宗	玄	大	判定理由	宗	玄	大	判定理由
国民健康保険税	変化なし	負担減少	負担減少	玄海地域では、医療分の平等割32,000円、均等割27,000円、介護分の均等割9,000円から平等割28,500円、均等割28,500円、介護分の均等割9,200円となりました。 大島地域では、医療分の資産割30%、平等割23,000円、均等割24,000円、介護分の所得割1.2%、資産割5%、平等割3,000円、均等割5,000円から医療分の資産割はなくなり、平等割28,500円、均等割28,500円、介護分の資産割と平等割はなくなり、所得割0.8%、均等割9,200円となりました。	負担増加	負担増加	負担増加	平成25年度より、国民健康保険税の税率・税額を改定し、医療分の所得割7.0%、平等割25,100円、均等割25,100円、高齢者支援分の所得割2.1%、平等割7,600円、均等割7,600円、介護分の所得割2.2%、均等割14,200円となりました。

「個人市民税税率及び非課税基準」については、均等割の年税額や均等割非課税基準を宗像市により調整したことから、玄海地域、大島地域では負担の増加となりました。その後、地方税法の改正による均等割の年税額の改定が行われ、現在までに全地域で負担が増加しました。

「介護保険料」については、介護保険料の納期や基準額の変更により、大島地域の負担が減少しました。その後、高齢化の進展に伴う介護保険料基準額の改定等により、全地域で負担が増加しました。

「国民健康保険税」については、玄海地域の国民健康保険税が減額となり、負担が減少しました。大島地域では国民健康保険税が増額となり、負担が増加しました。その後、医療費の増嵩により平成 25 年度に国民健康保険税率（額）を改定したことで、全地域の負担が増加しました。

2 使用料・手数料等

① 使用料

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
小・中学校施設使用料	変化なし	負担増加	負担減少	変化なし	負担増加	負担減少
B&G海洋センター使用料	負担減少	負担増加	負担減少	負担減少	負担増加	負担減少

② 手数料

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
税証明発行	変化なし	負担減少	負担増加	負担増加	負担増加	負担増加
市民課証明発行	変化なし	負担減少	負担減少	負担増加	負担増加	負担増加

「小・中学校施設使用料」については、玄海地域、大島地域の施設使用料が減額となりました。玄海地域においては、町民無料が廃止となり、総合的に比較すると負担が増加しました。その後、使用料等の見直しにより、体育館使用料が増額、ナイター使用料が減額となり、合併前から総合的に比較すると、宗像地域では負担に変化はなく、玄海地域では負担が増加、大島地域では負担が減少しました。

「税証明発行」については、字図謄写発行手数料が玄海地域では減額、大島地域では増額となりました。その後、平成21年度に臨時運行許可及び住宅用家屋証明書を除くすべての証明書等手数料を増額したことから、全地域で負担が増加しました。

「市民課証明発行」については、印鑑登録手数料が200円となったため、玄海地域、大島地域の負担が減少しました。その後、平成20年度に住民票交付手数料及び住民票記載事項証明書交付手数料を増額したことから、全地域で負担が増加しました。

3 子育て支援

① 保育所・幼稚園・学童保育

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
保育所	変化なし	サービス向上	サービス向上	サービス向上	サービス向上	サービス向上
幼稚園	変化なし	変化なし	サービス向上	変化なし	サービス低下	変化なし
私立幼稚園就園奨励補助金	変化なし	サービス向上	サービス向上	変化なし	サービス向上	サービス向上
学童保育	変化なし	サービス低下	変化なし	サービス向上	サービス向上	変化なし
合併時説明				現在説明		
玄海地域、大島地域では、宗像地域の認可保育所に通わせることができるようになりました。				認可保育所を増設し11園になったことで、全地域において認可保育所の選択肢が増加しました。		
大島地域には公立幼稚園がなかったため、新たなサービスとなりました。				行財政改革に伴う公共施設の統廃合により、平成20年度に玄海地域の公立幼稚園が廃止となりました。		
玄海地域、大島地域では、新たに私立幼稚園就園奨励補助金事業を実施しました。				合併時に左記のとおり調整し、その後現在まで、私立幼稚園就園奨励補助金に変化はありません。		
玄海地域では、開所時間が午後6時まででしたが、平日は午後5時30分、土曜日は午後3時までとなり、短縮となりました。保育料については、基準額3,500円が6,500円となりました。 大島地域では学童保育事業は実施していません。				宗像地域、玄海地域では土曜日の開所時間の延長、延長保育、長期期間のみの利用など新たなサービスが導入されました。 保育料については、基準額が7,000円となりました。		

② 母子保健

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
母子訪問	サービス低下	サービス向上	サービス向上	変化なし	サービス向上	サービス向上
母子健診	変化なし	サービス向上	サービス向上	変化なし	サービス向上	サービス向上
判定理由				判定理由		
玄海地域、大島地域では、栄養強化事業、産後ケア事業が新たに実施となりました。新生児訪問については、希望者及び必要者への訪問でしたが、生後28日未満の第1子及び妊娠、分娩または出産時に異常があった者、若年初産婦または高年初産婦の妊娠中及び産後1年を経過しない者へと対象者が拡大しました。 宗像地域では、出生祝品支給事業が廃止となりました。				合併時に左記のとおり調整し、その後現在まで、母子訪問事業に変化はありません。		
玄海地域、大島地域では、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診、4ヶ月児健診の年間実施回数が増加し、7ヶ月児健診については個別の医療機関で受診が可能となりました。 玄海地域では、ゆうゆうプラザでの健診がなくなりました。				合併時に左記のとおり調整し、その後現在まで、母子健診事業に変化はありません。		

③ 相談

項目名	旧市町村と新市の比較				旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			
	宗	玄	大	判定理由	宗	玄	大	判定理由
子ども家庭相談	変化なし	サービス向上	サービス向上	玄海地域、大島地域では、子育て支援短期利用事業、児童虐待防止ネットワーク事業が新たに実施となりました。 また、家庭児童相談室については、県実施からより身近な市実施へと変わりました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成20年度に、児童虐待防止ネットワーク事業から宗像市要保護児童対策地域協議会に移行し、児童虐待の発生予防等に取り組んでいます。 また、平成24年度から子どもの権利救済事業を新たに実施し、市役所内に子どもの権利救済機関を設置しました。

「保育所」については、認可保育所に通わせることができるようになったため、玄海地域のサービスが向上しました。大島地域では、へき地保育所を暫定的に残したため、サービスに変化はありませんでした。その後、認可保育所を増設し 11 ヶ所となったことで、全地域のサービスが向上しました。

「幼稚園」については、公立幼稚園がなかった大島地域で新たに通園させることが可能となり、サービスが向上しました。その後、平成 20 年度に公立幼稚園が廃止となり、全地域でサービスが低下しましたが、宗像地域、大島地域については、合併前と比較すると、サービスに変化はありませんでした。

「学童保育」については、玄海地域の開所時間が短縮したため、サービスが低下しました。その後、土曜日の開所時間の延長等の新たなサービスを実施したため、宗像地域、玄海地域のサービスが向上しました。なお、大島地域では学童保育が実施されていないため、サービスに変化はありませんでした。

「母子訪問」については、栄養強化事業等を新たに実施したことで、玄海地域、大島地域のサービスが向上しました。宗像地域では、出生祝品の支給を廃止したため、サービスが低下しました。その後、新生児訪問事業の対象者を拡大したことで、全地域のサービスが向上しました。宗像地域については、合併前と総合的に比較すると、サービスに変化はありませんでした。

「子ども家庭相談」については、子育て支援短期利用事業等を実施したことに加え、家庭児童相談室が身近になったことにより、玄海地域、大島地域のサービスが向上しました。その後、平成 25 年度に「子ども基本条例」に基づく子どもの権利救済事業を新たに実施したことで、全地域のサービスが向上しました。

4 教育

項目名	旧市町村と新市の比較				旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			
	宗	玄	大	判定理由	宗	玄	大	判定理由
校外活動補助	変化なし	サービス低下	サービス低下	修学旅行補助、6年生宿泊交流補助、勉強合宿補助、校外活動費補助、野外活動補助、ふれあい活動補助金は、玄海地域、大島地域で廃止となり、観劇会補助制度は大島地域で廃止となりました。	サービス向上	サービス低下	サービス低下	現在までに、芸術鑑賞補助金、小学校宿泊体験事業補助、中学校宿泊体験等が拡充し、4年生プラネタリウム補助を新たに実施しました。 また、行財政改革に伴う補助金の見直しにより、社会科見学補助は廃止となりました。
学校給食	変化なし	負担減少	負担減少	玄海地域では、小学校で給食、中学校で牛乳のみの提供をしていましたが、中学校での給食を実施するようになりました。 新市の1月当たりの給食費は小学校で3,600円、中学校で4,100円となり、玄海地域の小学校では100円の減額、大島地域の小学校では400円の減額、中学校では700円の減額となりました。	負担増加	負担増加	負担減少	共同調理場でのセンター方式を廃止し、大島共同調理場を除き自校方式で給食を実施しています。 1月当たりの給食費は小学校で4,000円、中学校で4,500円となり、宗像地域の小学校、中学校では400円の増額、玄海地域の小学校では300円の増額、中学校では600円の増額、大島地域の小学校は同額、中学校では300円の減額となりました。 また、行財政改革に伴う補助金の見直しにより、給食補助金は廃止となりました。

「校外活動補助」については、玄海地域、大島地域の小中学校の修学旅行補助など多くの補助制度が廃止となったため、玄海地域、大島地域のサービスが低下しました。その後、芸術鑑賞補助金など一部の補助制度を拡充し、合併前と総合的に比較すると、宗像地域のサービスが向上、玄海地域、大島地域のサービスが低下しました。

「学校給食」については、すべての小中学校で完全給食となり、玄海地域と大島地域の給食費が減額となったため、玄海地域、大島地域の負担が減少しました。その後、大島共同調理場を除き自校方式で給食を実施していますが、給食費が以前より増額しているため、宗像地域、玄海地域では負担が増加しました。大島地域では、合併前と比較すると中学校の給食費が減額しているため、負担が減少しました。

5 社会保障

① 社会保険

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
国民健康保険	変化なし	サービス向上	サービス向上	変化なし	サービス向上	サービス向上
介護保険	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし

② 高齢者福祉

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
高齢者支援	変化なし	サービス低下	サービス低下	サービス低下	サービス低下	サービス低下
在宅生活支援	変化なし	サービス向上	サービス向上	サービス低下	変化なし	変化なし

③ 障がい者福祉

項目名	旧市町村と新市の比較			旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較		
	宗	玄	大	宗	玄	大
障がい者助成	変化なし	サービス向上	サービス向上	変化なし	サービス向上	サービス向上

④ 健康づくり

項目名	旧市町村と新市の比較				旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			
	宗	玄	大	合併時説明	宗	玄	大	現在説明
健診	変化なし	変化なし	サービス向上	玄海地域では、節目検診の実施、骨粗しょう症検診の節目検診への移行に伴う対象者の減少、乳がん検診負担額の400円増加を実施しました。 大島地域では、節目検診の対象年齢と検診項目の拡大、骨粗しょう症検診の節目検診への移行に伴う対象者の減少、乳がん検診負担額の200円減少を実施しました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成25年度から、離島歯科検診事業を実施しました。 また、新たに胃がん(リスク検査併用)と子宮頸がん(HPV検査併用)を実施しました。

「高齢者支援」については、玄海地域、大島地域で70歳祝金や敬老記念品を廃止した一方で、敬老祝金の支給や老人クラブ連合会に対する補助金の交付を開始しました。その後、平成18年度に敬老会補助金の廃止、平成19年度に敬老祝金の見直しを実施したことで、全地域のサービスが低下しました。

「在宅生活支援」については、配食サービスの回数増加や軽度生活支援事業の拡大により、玄海地域、大島地域のサービスが向上しました。その後、配食サービスの負担の増額や訪問理美容事業を廃止したことから全地域でサービスが低下しましたが、合併前と総合的に比較すると、宗像地域はサービスが低下し、玄海地域、大島地域はサービスに変化がありませんでした。

「健診」については、玄海地域で節目健診の実施と乳がん検診負担を増額したため、総合的に比較すると、サービスに変化はありませんでした。大島地域では節目健診の対象者や健診項目の拡大、乳がん検診負担の減額により、総合的に比較すると、サービスが向上しました。その後、離島歯科検診や胃がん、子宮頸がん検査を実施したことで、全地域でサービスが向上しました。

6 住環境

① ごみ処理

項目名	旧市町村と新市の比較			判定理由	旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			判定理由
	宗	玄	大		宗	玄	大	
分別収集	変化なし	サービス低下	サービス向上	玄海地域では、粗大ごみ処理手数料の520円増額、粗大ごみの自己搬入から戸別収集への変更、ストックヤードの搬入日の増加、資源集団回収奨励金におけるびんの対象追加を実施しました。 大島地域では、粗大ごみのステーション収集から戸別収集への変更、資源集団回収奨励金制度を実施しました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成24年度より、分別収集品として新たに使用済みてんぷら油の回収を実施しました。
生ごみ処理機購入費補助金	変化なし	変化なし	サービス向上	大島地域では、生ごみ処理機購入費補助金を新たに実施しました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成24年度より、ダンボールコンポスト購入費を補助金の対象としました。
塵芥処理	変化なし	サービス向上	変化なし	玄海地域では、ごみ袋大120円、ごみ袋小70円がごみ袋大42円、ごみ袋小31円となりました。また、ごみ袋の小売店販売、収集回数の増加、戸別収集からステーション収集への変更、地島の可燃ごみ島外搬出に伴う指定袋の使用を実施しました。 大島地域では、処理手数料220円／月・人がごみ袋大42円、ごみ袋小31円となりました。また、収集回数は減少しました。	変化なし	サービス向上	変化なし	合併時に左記のとおり調整し、その後現在まで、塵芥処理事業に変化はありません。

② 水道・下水道

項目名	旧市町村と新市の比較			判定理由	旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			判定理由
	宗	玄	大		宗	玄	大	
水道料金	変化なし	変化なし	負担増加	玄海地域では、使用水量により料金負担に増減が生じました。 大島地域では、超過使用料分の調整を行なっており負担が増加しました。 料金体系については、玄海地域で2年間、大島地域で3年間の不均一料金となりました。	負担減少	負担減少	負担増加	平成22年度に地区事務組合として福津市と水道事務を統一し、平成24年度より統一使用料金となったことから、宗像地域、玄海地域の使用料金が平均で7.66%低下しました。また、使用料金のコンビニ納付やクレジット納付が可能となりました。 大島地域については、簡易水道料金改定を平成26年度に消費税改定と同時に実施予定です。
下水道料金	変化なし	負担増加	変化なし	玄海地域では、人頭割を計量制に変更したことで、人数が多い世帯の使用料が減額になるなど、使用形態で負担に増減が生じました。 大島地域では、3年間不均一料金となりました。	変化なし	負担増加	変化なし	合併時に左記のとおり調整し、その後現在まで、下水道料金に変化はありません。 大島地域については、平成26年度に宗像市下水道条例の料金体系に統一される予定です。

「分別収集」については、戸別収集や資源集団回収奨励金制度の実施により、大島地域のサービスが向上しました。一方、粗大ごみ処理手数料の変更により、玄海地域のサービスが低下しました。その後、平成 24 年度に分別収集品に新たに使用済みてんぷら油の回収を追加したことで利便性が向上し、全地域のサービスが向上しました。

「生ごみ処理機購入費補助金」については、大島地域で新たに実施したことにより、サービスが向上しました。その後、平成 24 年度にダンボールコンポスト購入費を補助金の対象としたことで、全地域のサービスが向上しました。

「水道料金」については、納付方法の利便化や平成 24 年度に使用料金を改定したことで、宗像地域、玄海地域のサービスが向上しました。

7 公共交通・交通施設

項目名	旧市町村と新市の比較			判定理由	旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			判定理由
	宗	玄	大		宗	玄	大	
渡船運賃補助	サービス向上	サービス向上	サービス向上	高齢者渡船運賃助成事業については、市内の70歳以上の高齢者に対して渡船運賃を全額助成としました。 離島在宅サービス事業費補助金については、大島地域へ対象を拡大しました。 地島児童渡船運賃助成については、制度を廃止しましたが、地島生徒渡船運賃助成は補助率が2/3から全額へ、大島高校大学生渡船運賃助成は3,000円の減額から半額助成へとサービスを拡大しました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成23年度に高齢者渡船運賃助成事業の対象者を見直し、市内の70歳以上の高齢者については半額助成、70歳以上の大島、地島島民については全額助成としました。 また、地島生徒渡船運賃助成、大島高校大学生渡船運賃助成の見直しを行い、通学渡船運賃助成とし、全額助成としました。 自動車航送運賃助成金については、地島島民にサービスを拡大しました。 平成24年12月から障がい者に対する運賃助成を開始し、減免と合わせると、大島、地島島民については全額助成、島外の者については半額助成となりました。
ふれあいバス・コミュニティバス	変化なし	サービス向上	変化なし	玄海地域では、ふれあいバスの第4系統を運行することとなり、買い物などの利便性が向上しましたが、運賃は無料から一律200円となりました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	中心部を走るふれあいバス、周辺部を走るコミュニティバスの運行が順次拡大し、ふれあいバスは3路線、コミュニティバスは5路線を運行しています。

「渡船運賃補助」については、高齢者渡船運賃の助成対象者の拡大等を実施したことで、全地域のサービスが向上しました。その後、平成 23 年度に高齢者渡船運賃の助成対象者を、市内の 70 歳以上の者については半額助成、大島、地島島民については全額助成に見直しました。また、通学渡船運賃助成による全額助成や自動車航送運賃助成金の実施、平成 24 年度の障がい者に対する助成の開始により、全地域でサービスが向上しました。

「ふれあいバス」については、第 4 系統の運行を始めたことから、玄海地域でサービスが向上しました。その後、ふれあいバス 3 路線、コミュニティバス 5 路線と路線を順次拡大しました。また、神湊ターミナルを経由するコミュニティバスの運行を実施したことで、大島地域の住民の利便性も向上し、全地域でサービスが向上しました。

8 市民活動・生涯学習

項目名	旧市町村と新市の比較				旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			
	宗	玄	大	判定理由	宗	玄	大	判定理由
姉妹都市・友好交流都市・姉妹村	サービス向上	サービス向上	サービス向上	宗像地域では、友好交流都市の大韓民国城山邑と国際交流と新たに交流を実施しました。 玄海地域では、姉妹都市の大韓民国金海市と新たに交流を実施しました。 大島地域では、友好交流都市の大韓民国城山邑、姉妹都市の大韓民国金海市と新たに交流を実施しました。また、姉妹村であった小石原村との姉妹村交流推進協議会を解消しました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成22年度から、新たにブルガリアのカザンラック市とパートナーシップ協定を締結したことで、異国文化に触れる機会が増加しました。 大韓民国金海市とは、スポーツ交流や市民活動団体による交流が盛んになりました。 平成18年度に友好交流都市の大韓民国城山邑が西帰浦市と合併したことに伴い、城山邑との友好交流締結が解消となりました。 現在、西帰浦市との友好交流締結を行う準備を実施し、交流の幅を広げています。
男女共同参画推進センター	変化なし	サービス向上	サービス向上	玄海地域では、男女共同参画に関する講座受講の機会が増加しました。 大島地域では、新たに講座が受講できるようになりました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	平成25年度から、男女共同参画推進センターの運営を市民活動団体「男女共同参画ゆいネット宗像」に協働委託しました。市民活動団体が運営することにより、市民ニーズに対応した事業を実施できるようになりました。

「姉妹都市・友好交流都市・姉妹村」については、宗像地域と姉妹都市である大韓民国金海市、玄海地域と友好交流都市である大韓民国城山邑と合併後も交流を続けることにしたため、全地域で新たな交流が生まれ、異国文化に触れる機会が増加したことにより、サービスが向上しました。また、平成22年度にブルガリアのカザンラック市とのパートナーシップ協定の締結や大韓民国金海市との交流の拡大により、全地域でサービスが向上しました。

「男女共同参画推進センター」については、玄海地域では男女共同参画に関する講座受講の機会が増加したことでサービスが向上し、大島地域では新たに講座が受講できるようになったことでサービスが向上しました。その後、平成25年度から男女共同参画推進センターの運営を市民活動団体に協働委託したことで、市民ニーズに対応した事業を実施できるようになったため、全地域でサービスが向上しました。

9 その他サービス

項目名	旧市町村と新市の比較			判定理由	旧市町村と現在 (H25.4.1) の比較			判定理由
	宗	玄	大		宗	玄	大	
住民票の即時交付箇所	変化なし	サービス向上	変化なし	玄海地域では、アクシス玄海内に住民票自動交付機を設置しました。	サービス向上	サービス向上	変化なし	玄海支所と赤間出張所を廃止し、平成23年度にはアクシス玄海内に設置した自動交付機を廃止しました。 平成25年度より、大島地区コミュニティ・センターを除く市内のコミュニティ・センターで、住民票と印鑑登録証明書の即時交付サービスを開始しました。
無料法律相談	変化なし	変化なし	サービス向上	大島地域では、無料法律相談の利用が新たに可能となりました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	無料法律相談は、平成19年度に廃止しました。 平成22年度に、市民に身近な、どんなことでも相談できる「なんでも相談室」を設置しました。
広聴	変化なし	サービス向上	サービス向上	玄海地域、大島地域では、意見箱の設置や市政モニターを新たに実施しました。	サービス向上	サービス向上	サービス向上	市内公共施設の意見箱を20ヶ所に増加しました。 「市長への手紙」のホームページ受付を開始しました。 平成17年度より、市民アンケートを実施しました。
広報紙	変化なし	サービス向上	サービス向上	玄海地域、大島地域では、ページ紙面がA4からタブロイド版になり、毎月の発行回数が1回から2回へと増加しました。	変化なし	サービス向上	サービス向上	合併時に左記のとおり調整、その後現在まで、広報紙に変化はありません。

「住民票の即時交付箇所」については、アクシス玄海内に自動交付機を設置したことで、玄海地域のサービスが向上しました。その後、玄海支所や赤間出張所を廃止し、平成23年度にはアクシス玄海内の自動交付機を廃止しましたが、平成25年度に大島地区コミュニティ・センターを除く市内のコミュニティ・センターで、住民票と印鑑登録証明書の即時交付サービスを開始したため、合併前と総合的に比較すると、玄海地域、宗像地域のサービスが向上しました。

「無料法律相談」については、大島地域で無料法律相談が新たに利用可能となったため、サービスが向上しました。その後、平成19年度に無料法律相談を廃止し、平成22年度になんでも相談室を設置したことで、全地域のサービスが向上しました。

「広聴」については、意見箱の設置や市政モニターを新たに実施したことで、玄海地域、大島地域のサービスが向上しました。その後、平成17年度から市民アンケートを実施したこと等により広聴手段が増加し、全地域のサービスが向上しました。

(白紙)

合併後のまちづくりに関する
市民アンケート結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

合併後 10 年間の本市のまちづくりや合併の効果について、市民の生活実感に基づく市民意識を調査し、検証することで、本市の今後のまちづくりに活用するものです。

(2) 調査の方法

①調査地域 宗像市全域

②調査対象 合併前から旧市町村内に住民票を有する、平成 25 年 10 月末日現在で市内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人

・宗像地域 2,000 人（転入日が平成 14 年 12 月 31 日以前）

・玄海地域 800 人（転入日が平成 14 年 12 月 31 日以前）

・大島地域 200 人（転入日が平成 16 年 12 月 31 日以前）

③抽出方法 住民基本台帳（平成 25 年 10 月末日現在）から無作為抽出

④調査方法 郵送による配布、回収

⑤調査期間 平成 25 年 11 月 29 日～12 月 13 日

⑥調査主体 宗像市 経営企画部 経営企画課

(3) 調査内容

本調査では、ここ 10 年間のまちづくりや行政サービス全般に関する満足度、合併後の一体感、合併に対する総合的な満足度を尋ねました。

(4) 回収結果

回収数は、1,079 件（回収率 36.0%）となりました。性別、年齢別、地域別、地区別のアンケート発送数と回収数は、表 1-1 のとおりです。

表 1 - 1 性別・年齢別・地域別・地区別発送数及び回収数

男女別	発送数	回収数	構成割合
男性	1,489	457	42.4%
女性	1,511	584	54.1%
無回答		38	3.5%
計	3,000	1,079	100%
年齢別			
18～29歳	312	43	4.0%
30～39歳	237	54	5.0%
40～49歳	373	106	9.8%
50～59歳	518	165	15.3%
60～69歳	685	327	30.3%
70歳以上	875	360	33.4%
無回答		24	2.2%
計	3,000	1,079	100%
地域別			
宗像地域	2,000	739	68.5%
玄海地域	800	247	22.9%
大島地域	200	68	6.3%
無回答		25	2.3%
計	3,000	1,079	100%
地区別			
吉武	51	20	1.9%
赤間	341	134	12.4%
赤間西	229	86	8.0%
自由ヶ丘	363	133	12.3%
河東	364	124	11.5%
南郷	142	45	4.2%
東郷	214	86	8.0%
日の里	296	111	10.3%
玄海(地島除く)	265	104	9.6%
玄海(地島)	50	13	1.2%
池野	285	88	8.2%
岬	200	42	3.9%
大島	200	68	6.3%
無回答		25	2.3%
計	3000	1,079	100%

（５）標本誤差

本調査は、ある集団の中から一部の対象だけを抽出して行う標本調査であり、この結果と市民全体の考えとの間には誤差が生じることがあります。これは、標本誤差と呼ばれるものであり、以下の式で計算することができます。

本調査の標本誤差は、信頼度を 95% とすると、表 1-2 のとおりです。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

（注） N は母集団数（80,496 人）、n は有効回答者数 1,079 人、p は標本比率を表す。

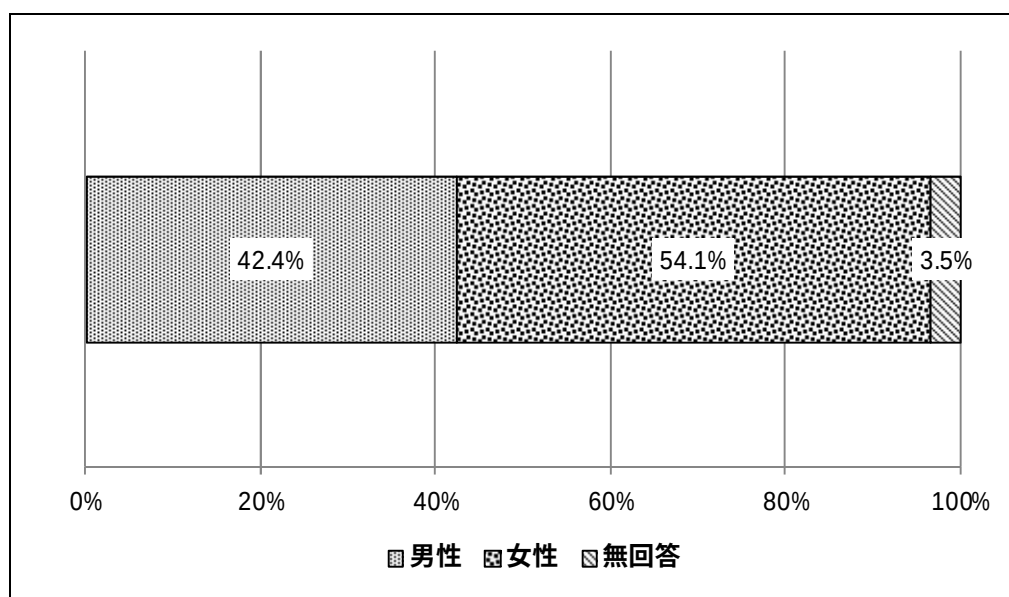
表 1 - 2 標本誤差早見表

標本比率	標本誤差率
10%または90%	±1.78
20%または80%	±2.37
30%または70%	±2.72
40%または60%	±2.90
50%	±2.96

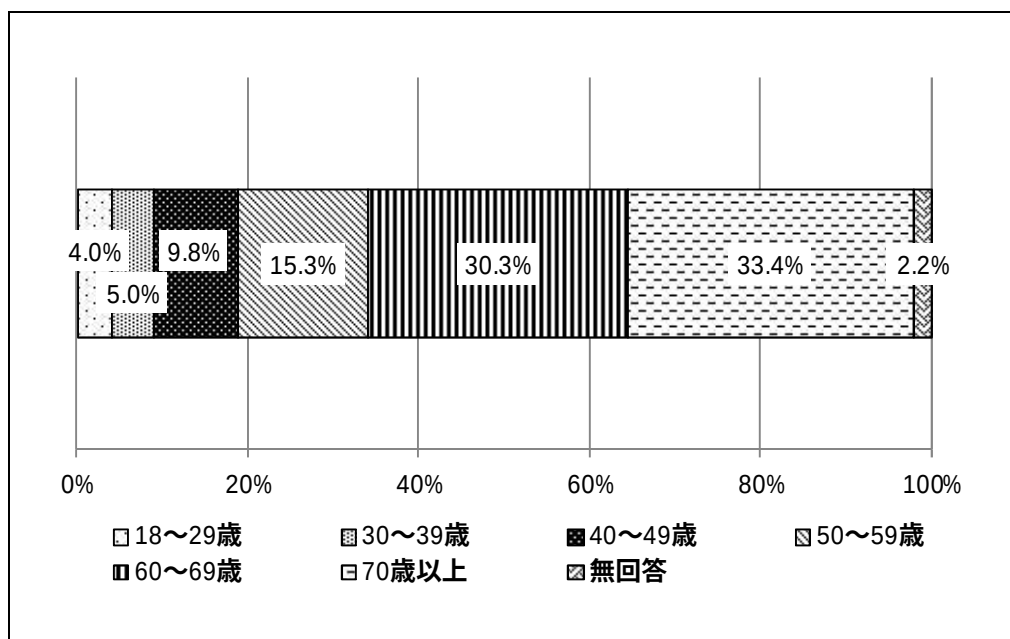
例えば、ある項目の結果が 50%であった場合、母集団の結果は 50%の±2.96%であると推計されます。つまり、母集団である宗像市民全体の結果は、47.04%から 52.96%の間にあると考えられます。

（６）回答者の属性

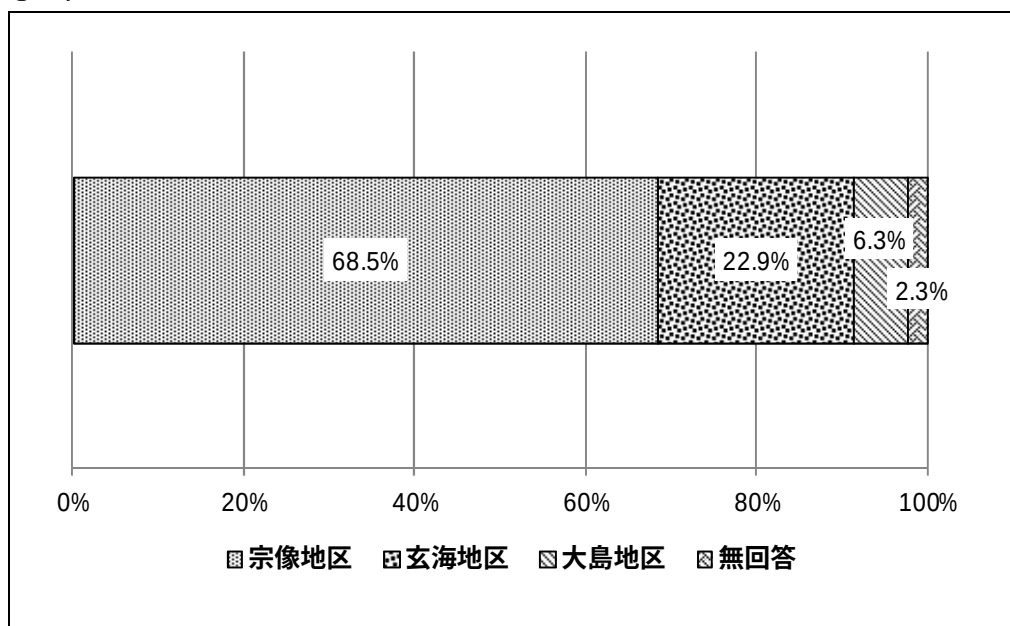
①性別



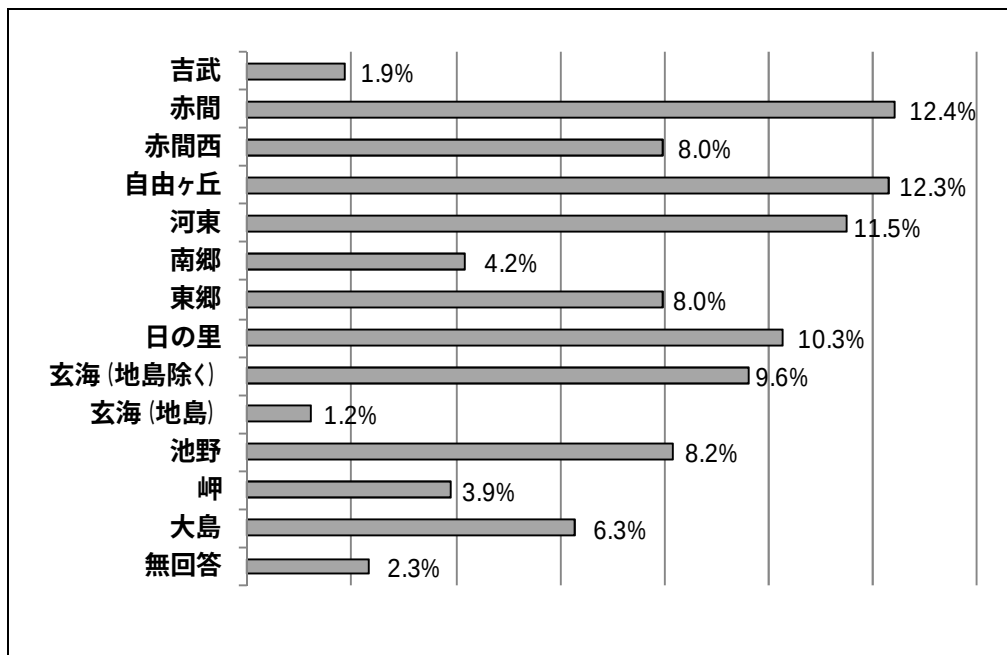
②年齢



③地区



④居住地



(7) 報告書の見方

調査結果の数値は原則として回答の選択率(%)及び構成比(%)で表記しており、小数点以下第一位を四捨五入しています。したがって、合計しても100%にならない場合があります。

地域別で分析する場合、吉武、赤間、赤間西、自由ヶ丘、河東、南郷、東郷、日の里地区をまとめて「宗像地域」、玄海(地島除く)、玄海(地島)、池野、岬地区をまとめて「玄海地域」、大島地区を「大島地域」として分析及び表記しています。

2 調査結果

問1 次の①～⑩の合併後10年間のまちづくりについて、あなたはどのように感じますか？

①効果的・効率的な行政経営に関する取組み

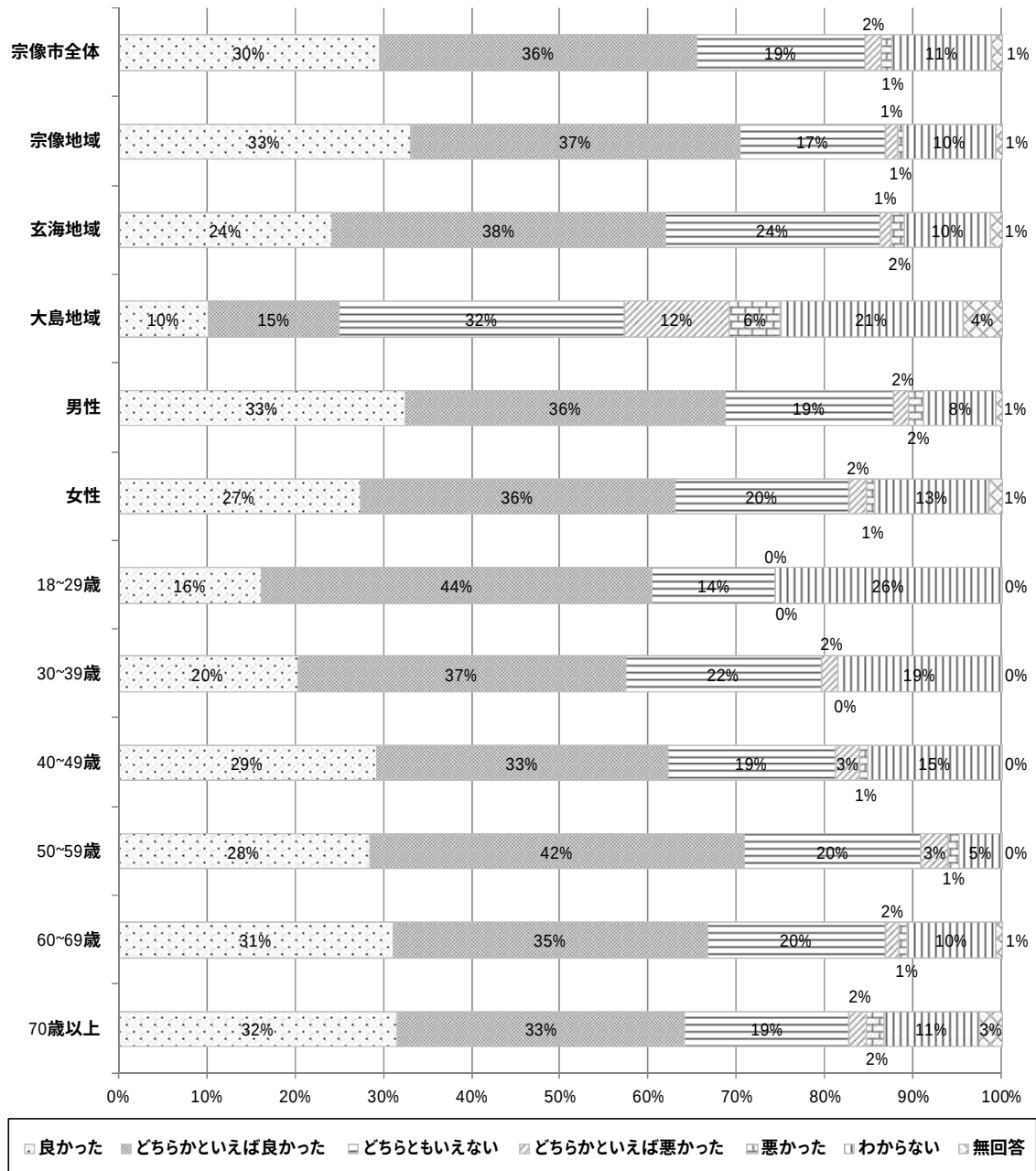


図2-1 効果的・効率的な行政経営に関する取組みの評価

効果的・効率的な行政経営に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらからといえば良かった」と回答した割合は66%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらからといえば良かった」と回答した割合が25%となり、他地域よりも低くなりました。

②市民協働のまちづくりに関する取組み

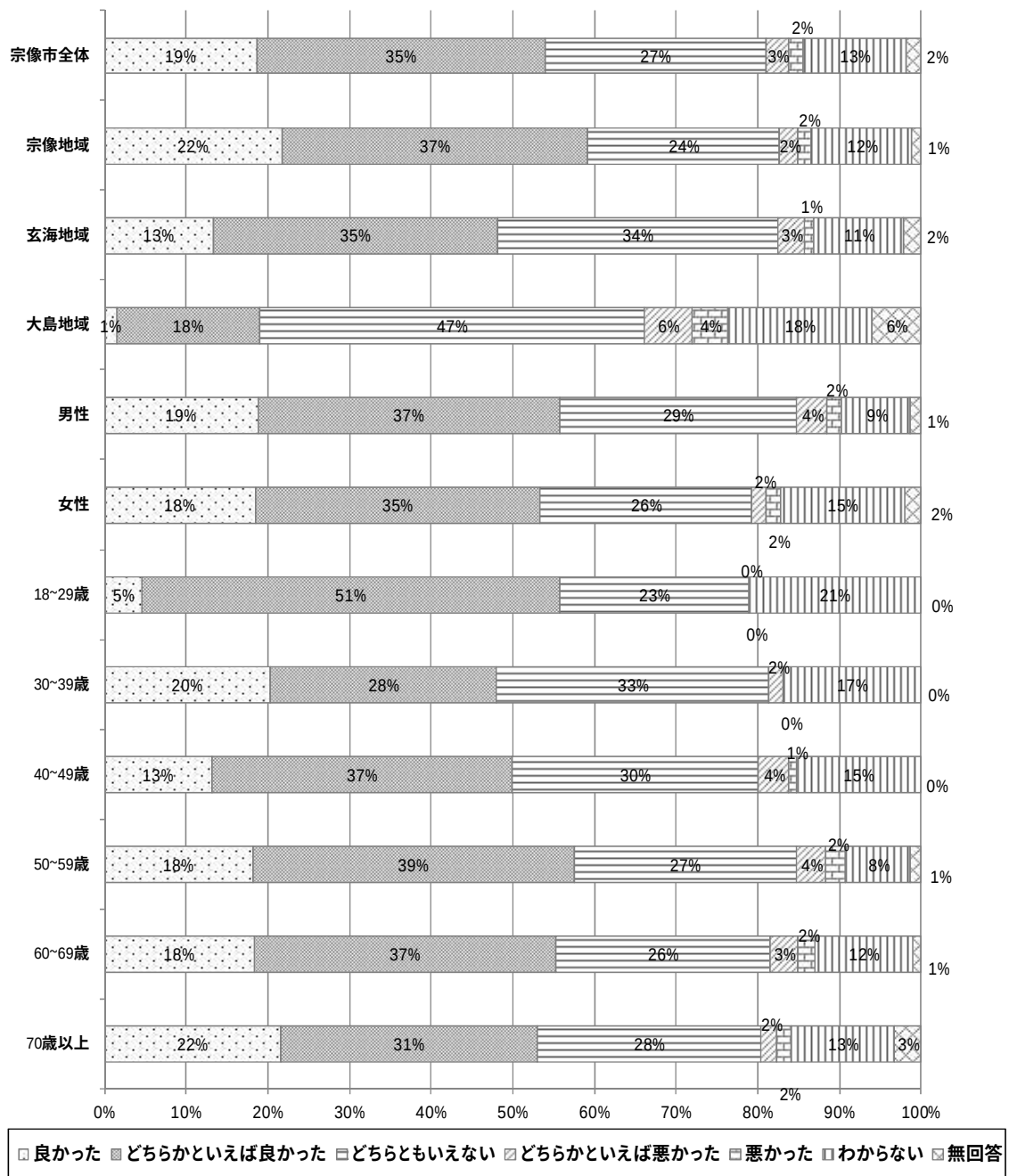


図2-2 市民協働のまちづくりに関する取組みの評価

市民協働のまちづくりに関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は54%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が19%と他地域より低くなり、また、「どちらともいえない」と回答した割合が47%と他地域より高くなりました。

③生涯学習の推進に関する取組み

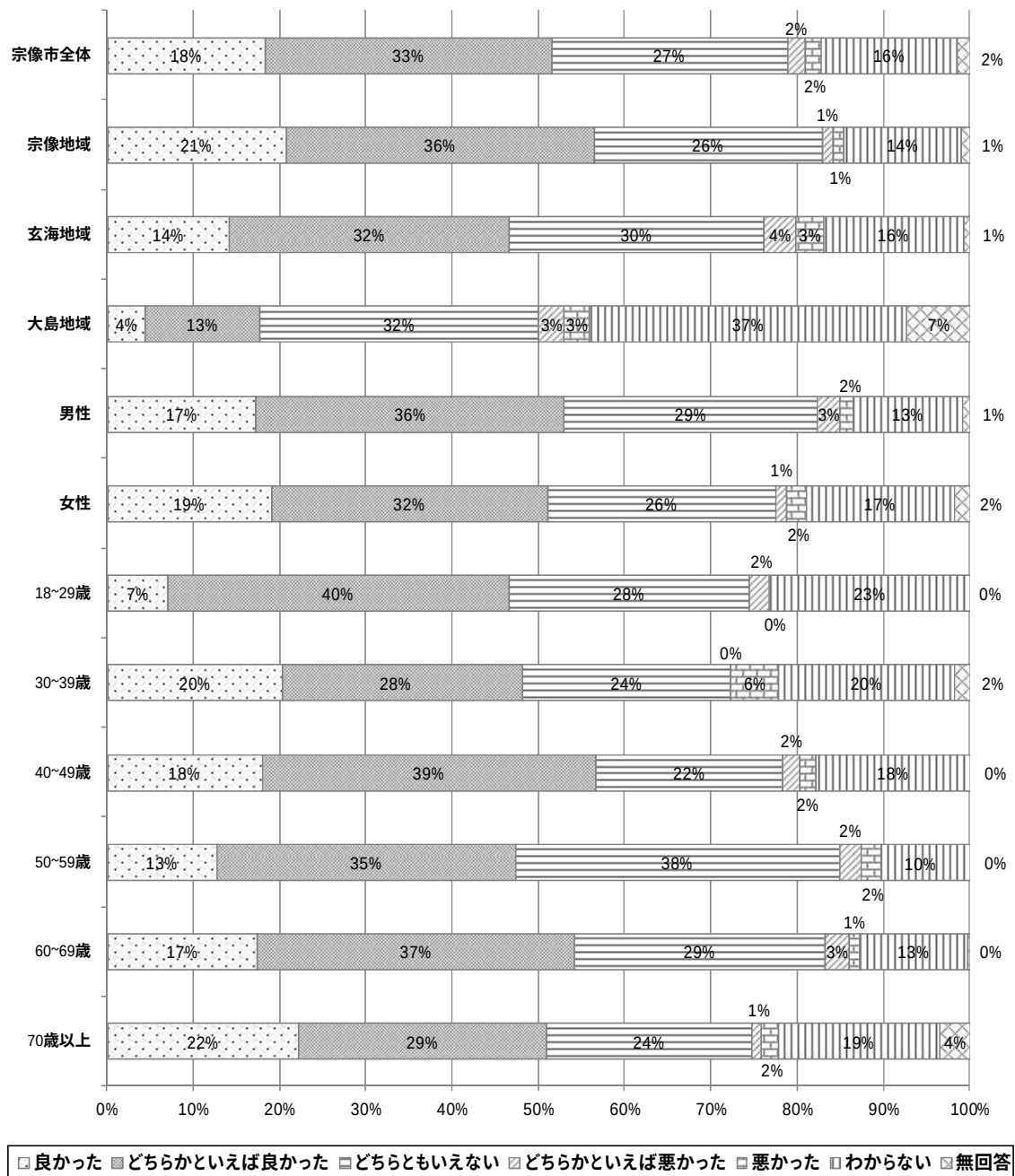


図 2 - 3 生涯学習の推進に関する取組みの評価

生涯学習の推進に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は51%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が17%となり、他地域よりも低くなりました。また、年齢別で見ると、50～59歳では「どちらともいえない」と回答した割合が38%となり、他年齢に比べ高くなりました。

④ 世界遺産登録活動に関する取組み

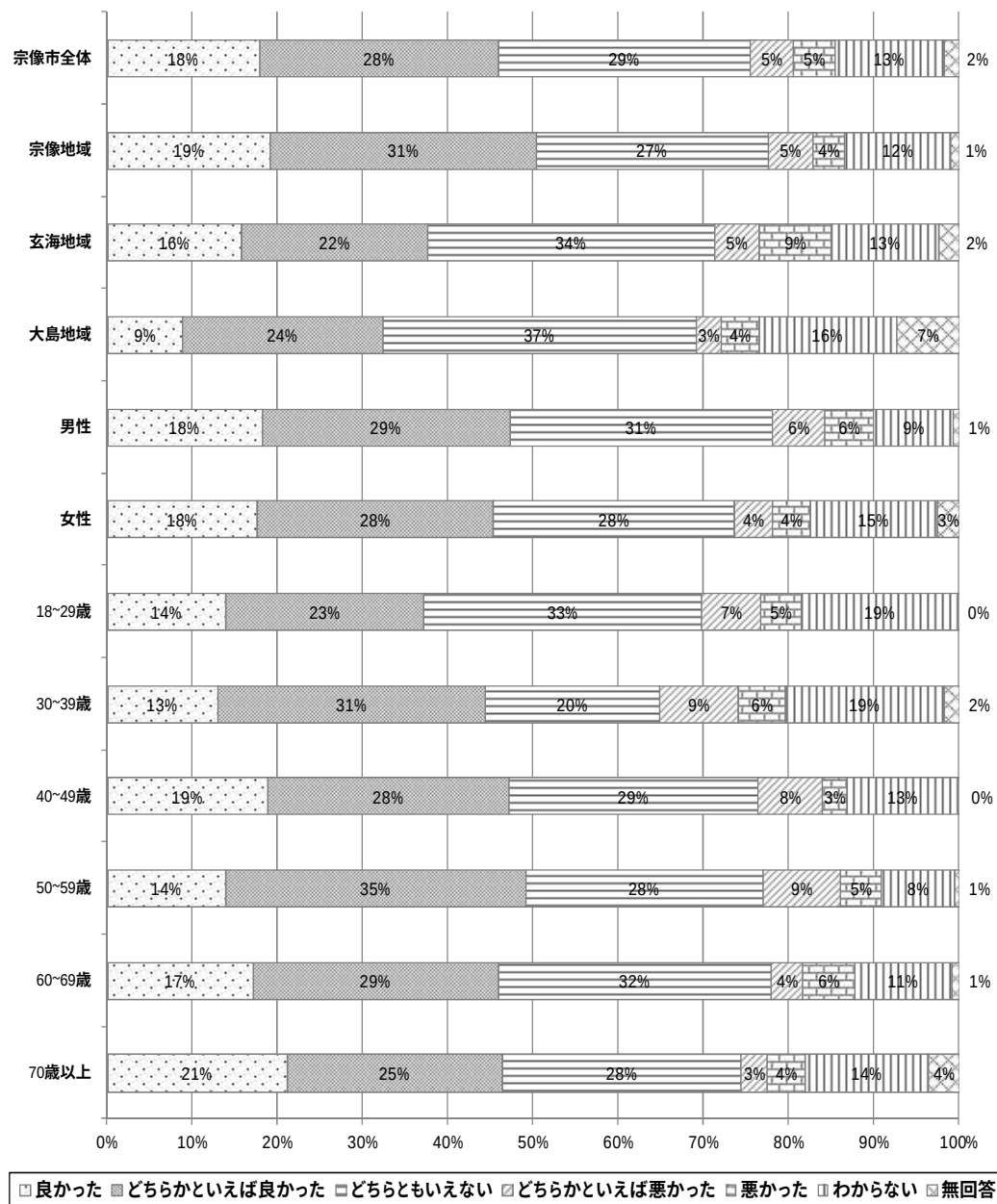


図 2 - 4 世界遺産登録活動に関する取組みの評価

世界遺産登録活動に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は46%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が33%となり、他地域よりも低くなりました。

⑤子育て環境の充実に関する取組み

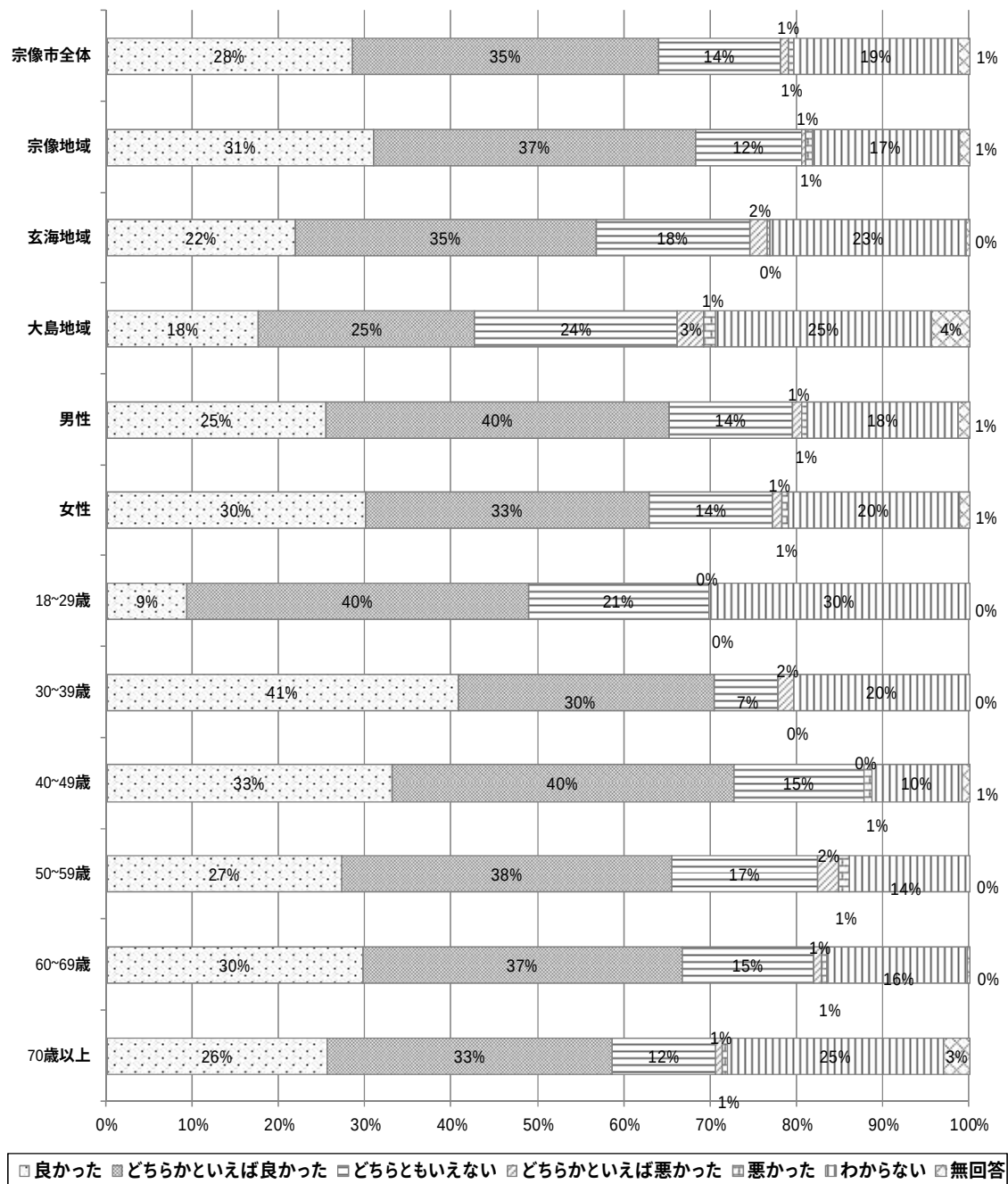


図 2 - 5 子育て環境の充実に関する取組みの評価

子育て環境の充実に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は64%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が43%となり、他地域よりも低くなりました。

⑥ 学校教育の充実に関する取組み

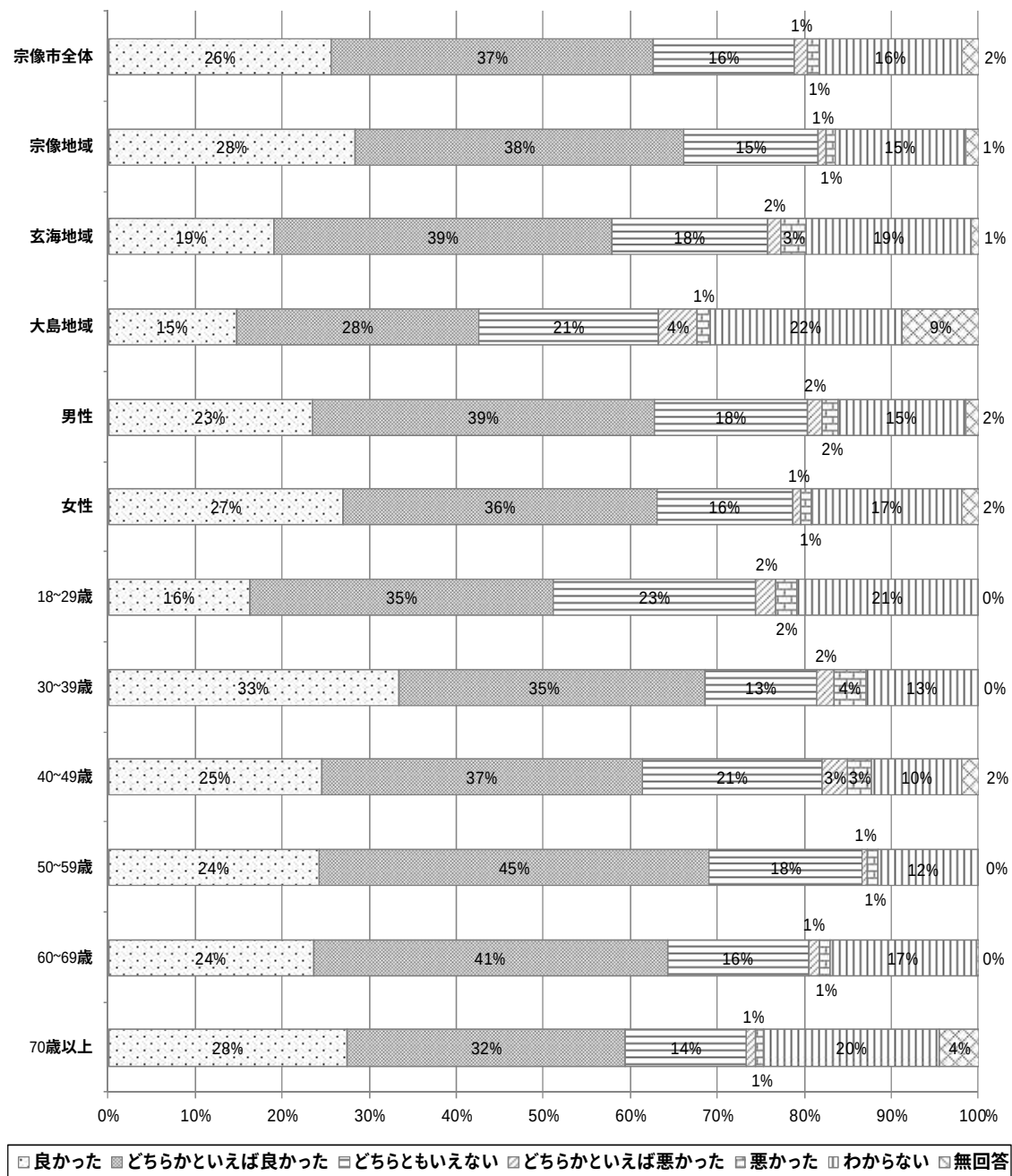


図 2 - 6 学校教育の充実に関する取組みの評価

学校教育の充実に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は 62%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が 43%となり、他地域よりも低くなりました。また、年齢別で見ると、18~29 歳では「良かった」と回答した割合が 16%となり、他年齢に比べ低くなりました。

⑦都市基盤の整備に関する取組み

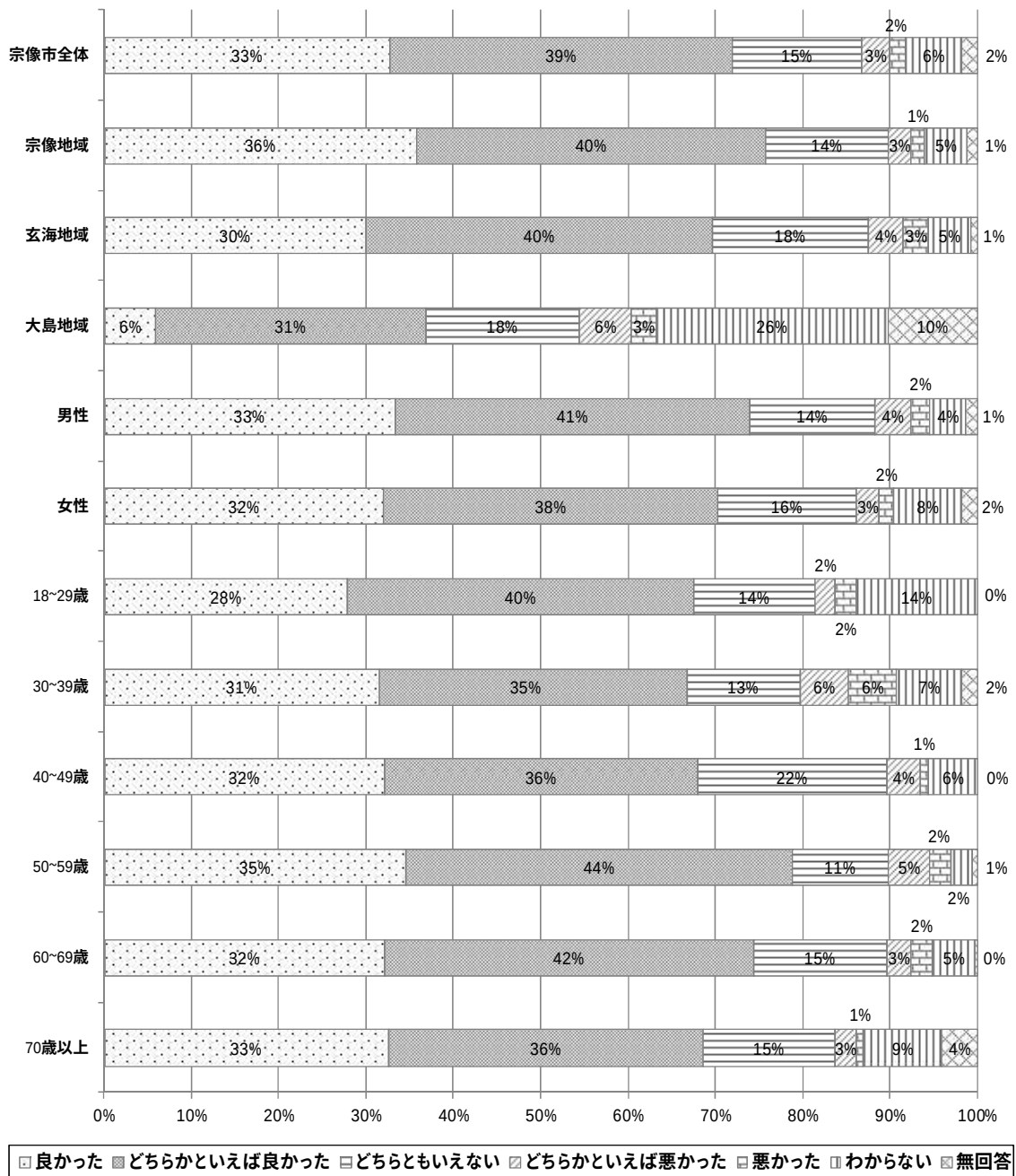


図 2 - 7 都市基盤の整備に関する取組みの評価

都市基盤の整備に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は72%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が37%とあり、他地域よりも低くなりました。

⑧産業の振興に関する取組み

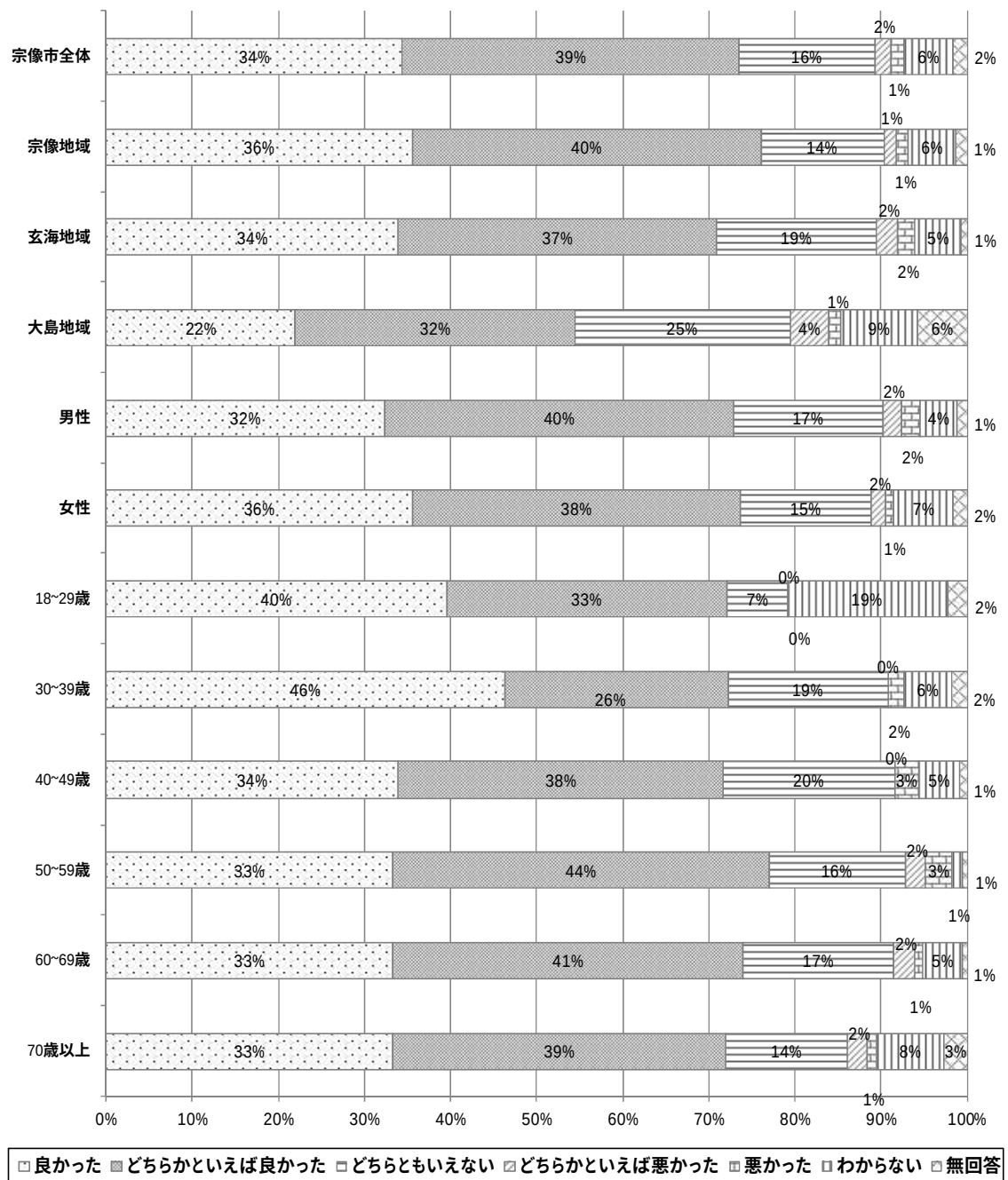


図 2 - 8 産業の振興に関する取組みの評価

産業の振興に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は73%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が54%となり、他地域よりも低くなりました。

⑨生活環境に関する取組み

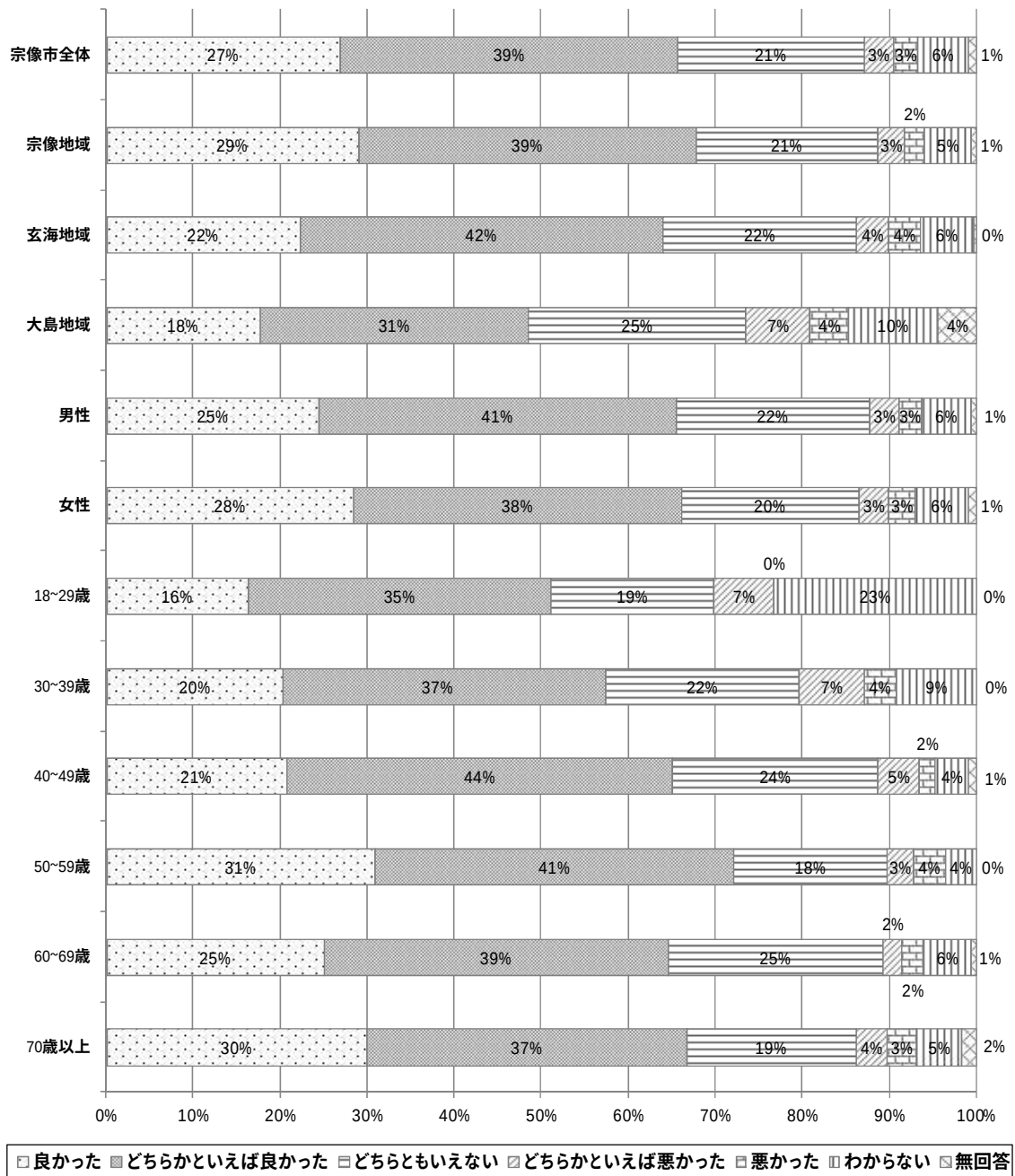


図 2 - 9 生活環境に関する取組みの評価

生活環境に関する取組みについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は66%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が49%とあり、他地域よりも低くなりました。また、年齢別で見ると、18歳～29歳では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が51%となり、他年齢より低くなりました。

⑩合併後 10 年間のまちづくりについて、総合的にどのように感じますか？

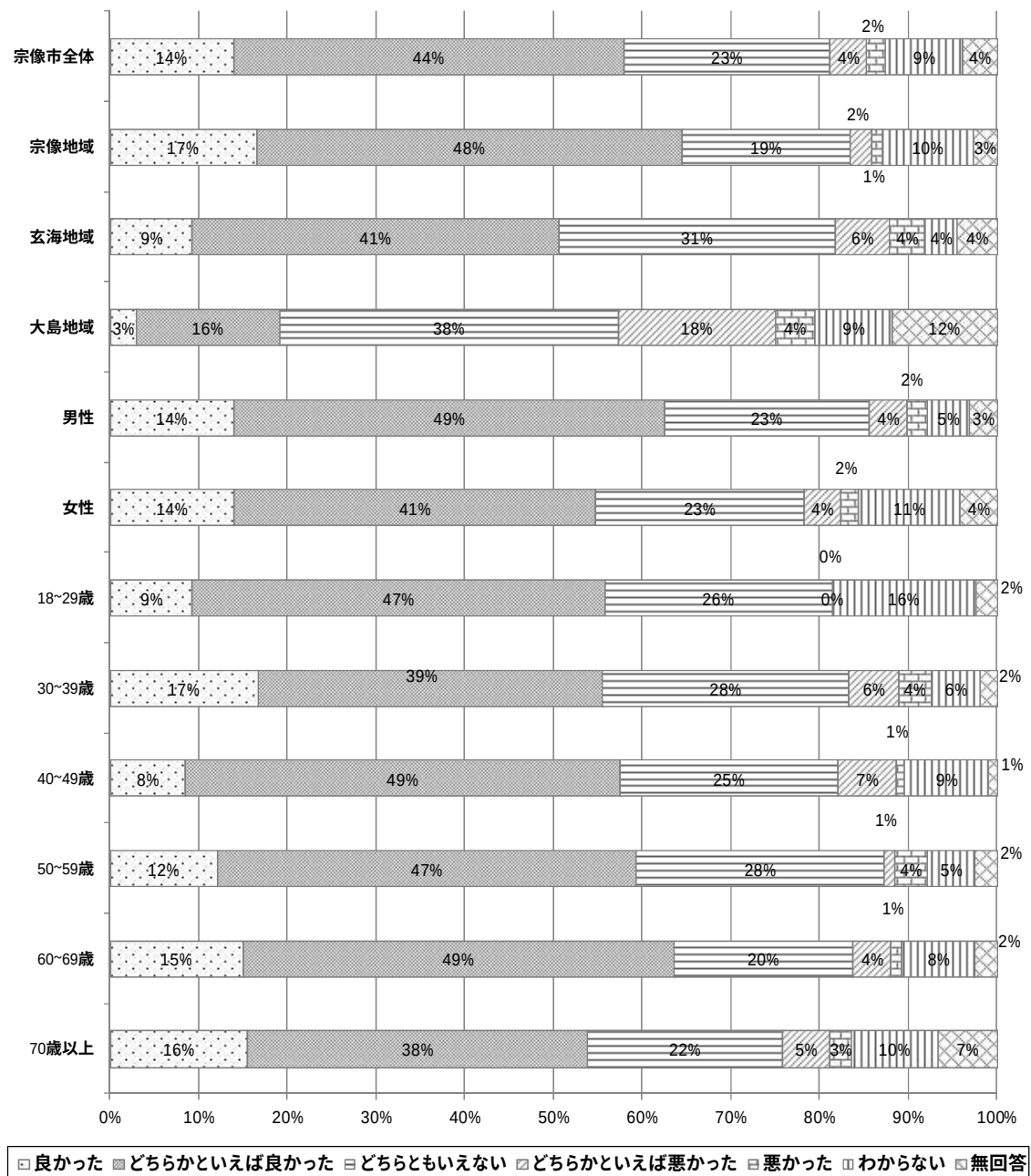


図 2 - 10 合併後 10 年間のまちづくりにの総合的な評価

合併後 10 年間のまちづくりの総合的な評価について市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は 58%となりました。特に、大島地域では「どちらかといえば悪かった」「悪かった」と回答した割合が 22%となり、他地域よりも高くなりました。

問1-(1)具体的な理由

■宗像地域（230件）

【効果的・効率的な行政経営】

（肯定的な意見）

- ・住民票交付サービスは便利になったと思う。
- ・市議会議員が少なくなり活動が活発になった。
- ・職員数、議員数削減によるサービス低下もなく、組織のスリム化と動きの良さが感じられた。
- ・行財政改革の実行により、基金残高の増加と市債残高の維持が効果として現れている。

（否定的な意見）

- ・旧市町村独自のらしさがなくなり、合理化、削減ばかりでとてもむなしい。
- ・まだまだ職員数、議員定数を減らすべき。
- ・市債の残高が267億円も残っており、何年で借金を減らすのか分からない。
- ・市役所での対応が人々それぞれ違って困った。

【市民協働のまちづくり】

（肯定的な意見）

- ・地域コミュニティ活動の活性化、市民協働まちづくりなど取り組みは良かったと思う。
- ・コミュニティ・センターでの活動が充実していて、生活の役に立っている。

（否定的な意見）

- ・コミュニティ・センター同士の連携がうまくいってない。
- ・市、コミュニティ運営協議会、自治会の順に、仕事をおろしすぎているのではないか。

【世界遺産登録活動】

（肯定的な意見）

- ・世界遺産登録活動を進めて、宗像市の知名度を高め、観光都市としての発展を期待している。

（否定的な意見）

- ・世界遺産登録活動の意義、必要性がわからない。
- ・一部の関心のある人だけの活動になっており、市民を上げて盛り上げる気持ちがないように思われる。

【子育て環境の充実】

（肯定的な意見）

- ・市内の保育園が増築されているのをよく見かけた。

（否定的な意見）

- ・中央公民館の閉鎖で、子育て事業等が中央公民館での減免措置が受けられなくなった。

【教育環境の充実】

（否定的な意見）

- ・小学校の1学級あたりの生徒数が多い。
- ・進学校への進学率が下がっている。
- ・小中一貫教育には反対である。

【都市基盤の整備】

（肯定的な意見）

- ・赤間駅周辺の区画整理事業、宗像高校東側県道 92 号線の JR 横断跨線橋事業、泉が丘から消防本部前に通じる環状道路の完成など、着々と都市化に伴う必要な施策が実施されており生活の利便性が増している。

（否定的な意見）

- ・道路の整備にお金をかけすぎていると思う。必要のない道路整備もあるのではないか。
- ・道は綺麗になっても街灯が少なくまちが暗いと思う。

【産業の振興】

（肯定的な意見）

- ・玄海町、大島村と合併したことで海の幸が豊富になり、知名度があがった。
- ・道の駅むなかたの開設をはじめ産業の振興に努力している。

（否定的な意見）

- ・企業誘致は市の税収になると思うが進んでいない。
- ・うみんぐ大島は利用料が高いこともありマイナスとなったのではないか。

【生活環境】

（肯定的な意見）

- ・コミュニティバスはとても助かっている。運転免許証が無い者にとってはありがたい。
- ・日常生活が便利になった。

（否定的な意見）

- ・まだまだ水道料金が高すぎる。
- ・コミュニティバスの運行が宗像市全体に均衡のとれた運行とは思えない。

【その他】

（肯定的な意見）

- ・目に見えて良い方向へ改善されていると感じられる。
- ・宗像市全体が活気づいた。

（否定的な意見）

- ・情報の伝え方、発信力が弱い。

■玄海地域（89 件）

【効果的、効率的な行政経営】

（肯定的な意見）

- ・住民票交付サービスの拡充は良かった。
- ・高齢化の進行に伴う行政サービスの必要性に対して、合併により対応の充実が進んでいるのではと思う。

（否定的な意見）

- ・市の対応が遅い。
- ・議員はもっと少なくていいと思う。
- ・何事にもコストが多い。

【市民協働のまちづくり】

（肯定的な意見）

- ・コミュニティができて、区の出来事がまとまってきたように思う。
- ・市内全地区のコミュニティ・センターの整備は良かったと思う。

（否定的な意見）

- ・コミュニティの活動が活発になった反面、役員が多忙になり、なり手が無い。

【世界遺産登録活動】

（否定的な意見）

- ・世界遺産登録活動を市民にもっと解りやすく知らせてほしい。
- ・市職員の意識が低い。
- ・税金の無駄遣い。

【子育て環境の充実】

（否定的な意見）

- ・子育てに関して、あまりにも保護のしすぎと思う。
- ・今後は量から質へ転換していくべきである。

【教育環境の充実】

（否定的な意見）

- ・中学生の行いが悪くて小学生に悪い影響を与えそう。

【都市基盤の整備】

（肯定的な意見）

- ・赤間駅周辺はパーキングが多くできたことで、利用しやすく迎えなど安全で良い。

(否定的な意見)

- ・玄海地域は、目に見えて整備されている所がまったく感じられず、整備が偏りすぎている。
- ・玄海地域の都市計画については、住宅の誘致等が原則できなくなり、過疎化に拍車がかかるばかりではないのか。

【産業の振興】

(肯定的な意見)

- ・道の駅むなかたの開館は、宗像市を全国区にしたと思う。
- ・海も宗像大社もあるりっぱな市になった。

(否定的な意見)

- ・企業の誘致に努力してほしい。
- ・いのしし解体施設は地域でマイナスである。
- ・うみんぐ大島は、もう少し人が集まるような施設（飲食関係等）が必要ではないか。

【生活環境】

(否定的な意見)

- ・ふれあいバスの時間帯について、よく不満の声を聞く。
- ・ふれあいバスの便利が悪くて利用しづらく、目的地に着くまでに時間がかかるため帰路に困る。
- ・緊急避難場所が無いので、公民館の活用も必要ではないか。
- ・上水道メーターで料金徴収されること、畑や花づくりに水道水を利用した場合にも下水道料金がかかることが納得できない。
- ・水道料金が福岡市内と比べて高い。

【その他】

(否定的な意見)

- ・宗像市全体ではよくなっているが、旧玄海町では活性化がみられない。
- ・都市としての将来像が描けてないように思える。
- ・効果的、効率的になっても住民税が高く、生活は良くなっていない。

■大島地域（11件）

【行政経営】

(否定的な意見)

- ・議員や市役所の職員はほとんどの人が上から目線であり、そんなにいない。

【その他】

（肯定的な意見）

- ・ 合併の効果が出るまであと一歩だと思う。

（否定的な意見）

- ・ 本土との生活格差がある。
- ・ 赤間地区、くりえいと地区は間違いなく発展しているが、島や末端地区の取組みについて成功していることが少なすぎる。
- ・ まちづくりが総合的に片寄っている様を感じる。
- ・ 大島行政センターの人数が少なくなり、島全体の活気が少しなくなってきた。

■地域不明（1件）

【行政経営】

（肯定的な意見）

- ・ 支出減とサービス向上はよかった。

問2 合併後の行政サービス全般について、普段のあなたの生活の中でどのように感じますか？

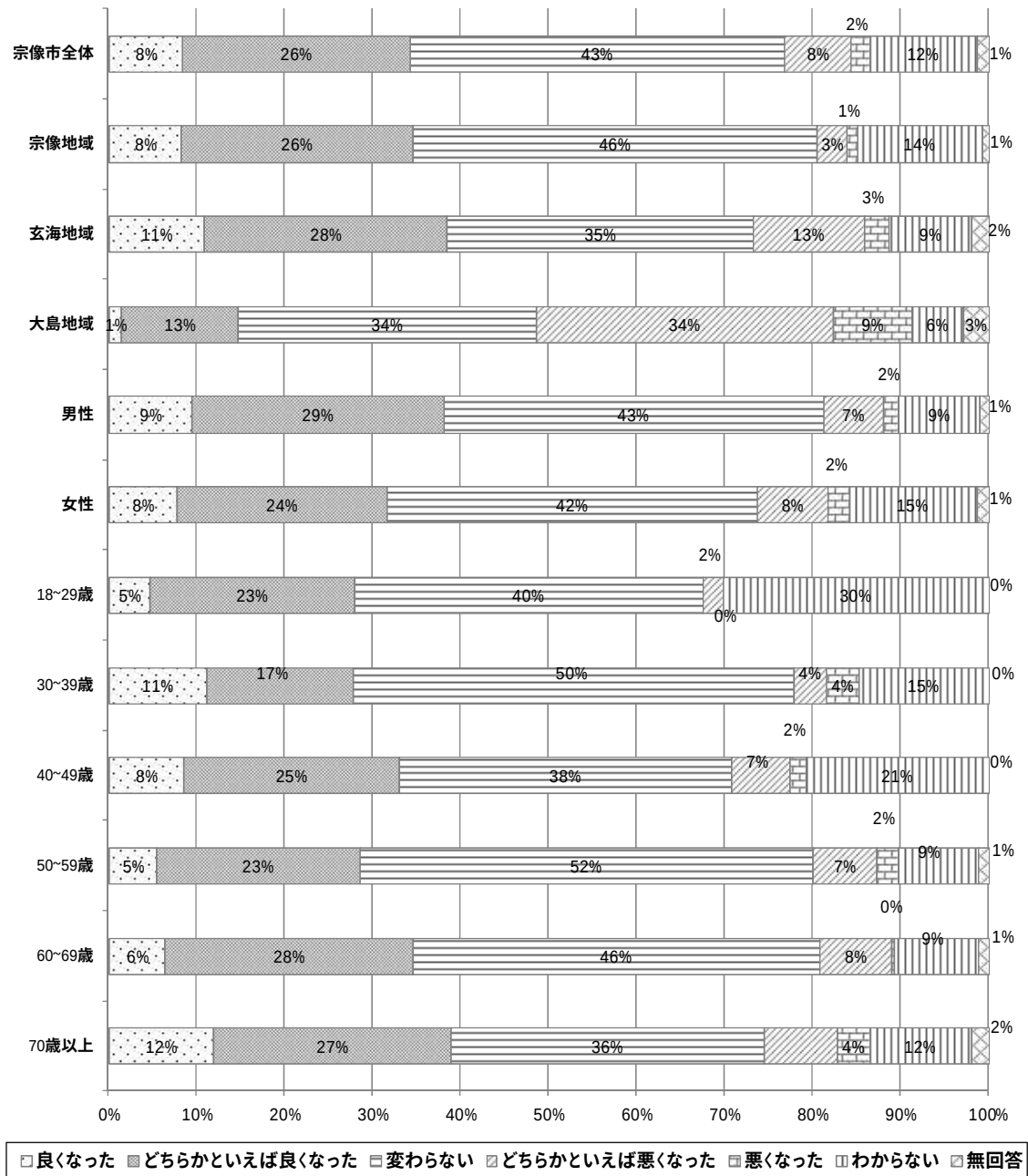


図3 合併後の行政サービス全般の評価

合併後の行政サービス全般について市全体で見ると、「良くなった」「どちらかといえば良くなった」と回答した割合は34%、「変わらない」と回答した割合は43%となりました。特に、大島地域では「どちらかといえば悪くなった」「悪くなった」と回答した割合が43%となり、他地域よりも高くなりました。また、年齢別で見ると、18歳～29歳では「わからない」と回答した割合は30%となり、他年齢より高くなりました。

問2-(1)具体的な理由

■宗像地域（139件）

【効果的、効率的な行政経営】

（肯定的な意見）

- ・きめ細かいサービスが徹底されていると思う。
- ・窓口の対応が早くなった。
- ・議員数削減など着実に進めているところは評価できる。
- ・市の運営がより現実的で行動的、また、フットワークが軽くなった印象である。
- ・トータル的にみて行政事務全般で無駄が排除され経費の節減につながっている。

（否定的な意見）

- ・東郷に居住している者にとっては良くなったと感じているが、客観的にみて玄海に住んでおられる方にとっては不便になった所も多いのではと感じている。
- ・以前よりはよくなったが、現在でもまだ充分ではないと感じている。
- ・接客に対する意識が低い。
- ・職員の担当業務に対する理解度と、市民に対する対応にかなりの差がある。
- ・市役所の公務員数が多すぎる。
- ・市民に心が向いておらず、気持ちが伝わらない。
- ・事務が一局集中となっている。
- ・市役所職員の対応、広報の内容など画一的で無機質なサービスのように感じる。

【市民協働のまちづくり】

（肯定的な意見）

- ・コミュニティ・センターの利活用、各自地区や市民へのハードとソフト面での公的支援により、地域に密着したきめ細やかなサービスだと思える。

【世界遺産登録活動】

（否定的な意見）

- ・計画の変更や無駄遣いが多く、本当に登録の可能性があるのかわからない。

【子育て環境の充実】

（肯定的な意見）

- ・子育てしている孫夫婦の話を聞いて、子育て環境が良くなったと実感した。

（否定的な意見）

- ・学童保育の質が非常に低下したと思う。
- ・保育園の負担が増えた。

【都市基盤の整備】

（肯定的な意見）

- ・赤間駅周辺が整備されて綺麗になり、便利になった。
- ・池田の畑に水道が通った。

（否定的な意見）

- ・歩道の整備など、福津市に比べるとまだまだだと思います。
- ・合併により新しい所に目が行き、以前から住んでいる人に恩恵がない。
- ・周囲に団地ができ、生活しにくくなった。

【産業の振興】

（肯定的な意見）

- ・宗像大社や海の駅など、宗像市の知名度が上がったと思います。
- ・農業に漁業が加わり、一次産業の資源が広がり加工業が発展すれば、六次産業として成長が期待される。
- ・ハローワークがある。

（否定的な意見）

- ・宗像の「道の駅」は、二度と行く気がしない。糸島の「伊都菜々」とは比べものにならない。

【生活環境】

（肯定的な意見）

- ・道の駅や直売所等が出来たことで、新鮮なものを買うことが出来るようになった。

（否定的な意見）

- ・水道料金が安い。
- ・ゴミ袋は質が悪くなり、すぐ破けてしまう。
- ・コミュニティバス、ふれあいバスが不便である。

【その他】

（肯定的な意見）

- ・合併した地域の特色を生かして、行事(イベント)を行っているように感じる。
- ・旧町村との格差が縮まった。
- ・小さな市町村がより身近になり、広域的な人的交流が盛んになった様に思う。
- ・特定検診後、保健師からの指導があり、その後運動を心掛けるようになった。

（否定的な意見）

- ・海の方ばかりで宗像市には目が向いていない。
- ・回覧が非常に多くなり、無駄遣いだと思う。
- ・一番望むサービスは税金等の負担の減少なのに住民税等が増加している。

【生活環境】

（肯定的な意見）

- ・ごみ処理手数料、水道料金の負担が減少した。
- ・ふれあいバスが出来た。
- ・水洗トイレになり、以前の料金より上下水道が安くなった。

（否定的な意見）

- ・市役所へ行くコミュニティバスがなくなった。
- ・ゴミ袋や他のものが値上がりした。

【その他】

（肯定的な意見）

- ・民生委員の指導がよかった。

（否定的な意見）

- ・宗像市の広報はページ数が多いのでまとめたほうがいい。
- ・宗像市中心は活発になったが、玄海地区の過疎が加速した。
- ・「玄海」という地名がなくなり、とても寂しく思っている。

■大島地域（9件）

【効果的、効率的な行政経営】

（否定的な意見）

- ・ふれあいセンターやコミュニティ・センターで判断できる事が少なくなった。
- ・行政機関が支所になり、職員数も減り、何かと相談や問い合わせがしづらくなった。
- ・市民の為になっていない職員がいる。

【都市基盤の整備】

（否定的な意見）

- ・船や駐車場、運賃値上げなど不便なことが多い。

【その他】

（否定的な意見）

- ・市内と同じ事をする様におしつけられる。
- ・合併後は、建物や公共の物品等がまったく活用されていない。
- ・税金や水道代が高くなった。

■地域不明（2件）

【効果的、効率的な行政経営】

（否定的な意見）

- ・ 合併前は行政に直接サービスをお願い出来たが全ての事について市のおうかがいをたてなければならなくなった。

【都市基盤の整備】

（肯定的な意見）

- ・ 赤間駅周辺がすっきりした。

問3 宗像市としてのまちの一体感が、住民の間で形成されていると思いますか？

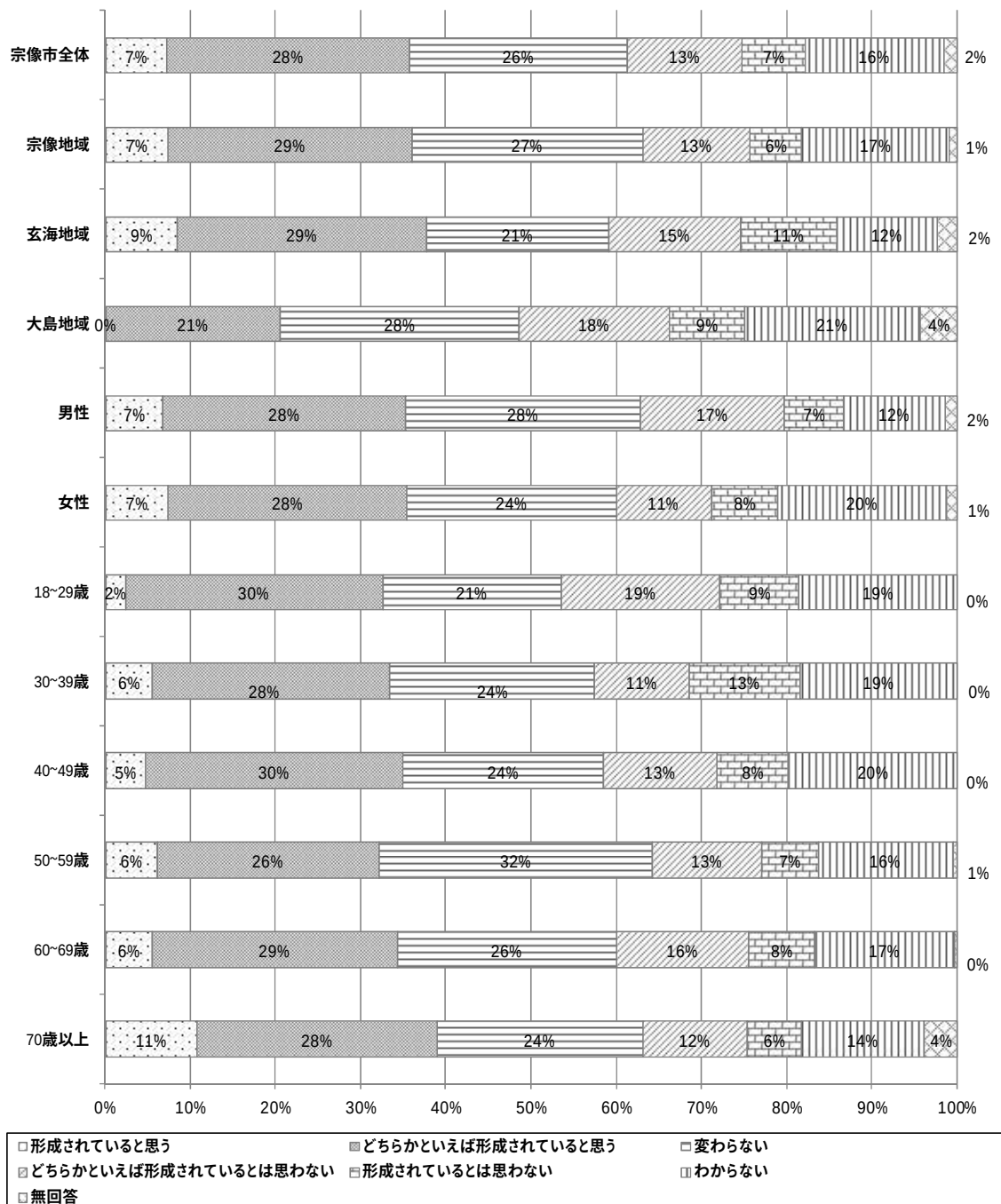


図4 まちの一体感の形成に関する評価

まちの一体感の形成について市全体で見ると、「形成されていると思う」「どちらかといえば形成されていると思う」と回答した割合は36%となりました。特に、大島地域では「形成されていると思う」と回答した割合が0%、「どちらかといえば形成されていると思う」と回答した割合が21%となり、他地域より低くなりました。

問3-(1) 具体的な理由

■宗像地域（145 件）

【効果的、効率的な行政経営】

（肯定的な意見）

- ・市民へのサービス及び負担の格差が是正され、一体感が生まれた。

（否定的な意見）

- ・大きな事をしようと目先ばかり追いかけている。
- ・市政に対する発想が感じられない。

【市民協働のまちづくり】

（肯定的な意見）

- ・地域がコミュニティ・センターを中心にまとまりが出来たように思う。
- ・仕事の情報や資格習得などが平等に実施されていると感じる。
- ・自治会がしっかりしていると思うから。
- ・市民活動団体の活動や人づくりでまちづくり基金による支援で、今までにないような活動ができています。
- ・コミュニティ・センター等利用している人が多くおり、まち全体がいきいきしている様に思う。
- ・目に見えるコミュニティの改修、新築があり、住民としては利用し易くなった。

（否定的な意見）

- ・自治会の役員などが回ってくると、コミュニティの仕事が多く面倒である。
- ・住民自治は結構だが、行政がある意味で手抜きしている感じがする。
- ・市民側に、まちづくりは自分達が主体となる意識がやや低く感じる。
- ・市民同士やコミュニティの横のつながりをあまり実感できない。
- ・町内会からの退会者が多く、一体感は感じられない。
- ・コミュニティに関わる人は高齢者が多く距離を感じる。
- ・コミュニティごとの考えで運営され、市としての統一性がない。

【世界遺産登録活動】

（肯定的な意見）

- ・宗像の象徴として沖ノ島を挙げることは、一体感の形成のために必要と思う。
- ・宗像の歴史的価値を知ることができた。

（否定的な意見）

- ・宗像大社を中心にした世界遺産登録活動は、行きすぎで税金の無駄遣い。
- ・PR 不足であり、関心のある市民や関係者で取り組まれているように感じる。
- ・世界遺産登録活動の目的が良く理解できない。
- ・世界遺産に登録されることで何が変わるか、デメリットはないのかの説明が足

りていないように思えるし、それが一体感を生むという実感はない。

- ・沖ノ島は女人禁制であり、遠い島で行くことができないので、観光客が集まりにくいと思う。
- ・活動者と市民の温度差を感じる。
- ・世界遺産活動は市民に浸透していない。

【都市基盤の整備】

（否定的な意見）

- ・赤間ばかり開発されて東郷、日の里が取り残されている感がある。

【産業の振興】

（肯定的な意見）

- ・道の駅むなかたのテレビ取材、ラジオでの宗像の番組、福岡市内バスでの PR などの取組みが目についている。

（否定的な意見）

- ・サンリブとゆめタウンの開設により、商店街は壊滅状態である。

【生活環境】

（否定的な意見）

- ・ふれあいバスの運行が不便である。

【その他】

（肯定的な意見）

- ・みあれ祭とミアーレ音楽祭で、市民間の絆が出来たと思う。
- ・月 2 回の市政だよりで、各活動が積極的に行われ、変化していることを知ることができる。
- ・努力のあとが感じられる。
- ・施設面で都市部、郡部の均衡が取れて来た。
- ・一体感を高めようと企画されたイベントなどをよく目にするようになったと感じる。

（否定的な意見）

- ・玄海地域に予算が多く使われている。
- ・活動がマンネリ化している。
- ・一体感は感じられない。

■玄海地域（42 件）

【効果的、効率的な行政経営】

（否定的な意見）

- ・身近であった役場や執行部が遠く感じる。
- ・市政の前に市民の声を聞くべきである。

【市民協働のまちづくり】

（肯定的な意見）

- ・コミュニティ・センターの活動には大変満足している。

（否定的な意見）

- ・コミュニティ・センターと住民の結びつきがまだまだ足りない。
- ・コミュニティ・センターで働いている人の私物化のような感じがしており、利用しづらい。

【世界遺産登録活動】

（否定的な意見）

- ・世界遺産活動は市民に浸透していない。
- ・沖ノ島は女人禁制であり、世界遺産に登録されたとしても観光地にはならない。その登録活動のために私の税金が遣われているのは本当に腹が立つ。
- ・市民だけでなく、市職員の意識も薄いと思われる。
- ・世界遺産を通して、旧市町村間での均衡の取れた発展など本当に考えているのか。

【都市基盤の整備】

（肯定的な意見）

- ・放置されていた道や松林が綺麗になった。

【生活環境】

（肯定的な意見）

- ・防災については、市民が一体化している様に思った。

【その他】

（肯定的な意見）

- ・元気な皆さんが率先して活動されているのはいい事だと思う。
- ・宗像市が発達し成長した功績を残し、眼に見えて第3次産業がその力を示し貢献し、市民社会生活に潤いを与え、活力源となっている。

(否定的な意見)

- ・宗像中心部と、玄海地域での差を感じる。
- ・合併後に良い事はない。

■大島地域（3件）

【効果的、効率的な行政経営】

(否定的な意見)

- ・市民の小さな声も聞くべきである。

【その他】

(肯定的な意見)

- ・医師会病院が中核となった医療体制は、大島地区や玄海地区なども一体となって取り組まれ、今まで以上に助かる人が増加している。

(否定的な意見)

- ・離島という地理的なものか、一体感は感じ辛い。

■地域不明（4件）

【市民協働のまちづくり】

(否定的な意見)

- ・コミュニティ・センターが遠く、利用に不便である。

【世界遺産登録活動】

(否定的な意見)

- ・世界遺産の肩書きのための活動費を他に廻すべき。それ程の価値はないと思う。
- ・世界遺産登録活動は一部の人達だけ盛り上がっているが、知らない人達は沢山いる。

【その他】

(肯定的な意見)

- ・広報紙等で、色々な事業の計画や実行を実感することができる。

問4 合併して良かったと感じていますか？

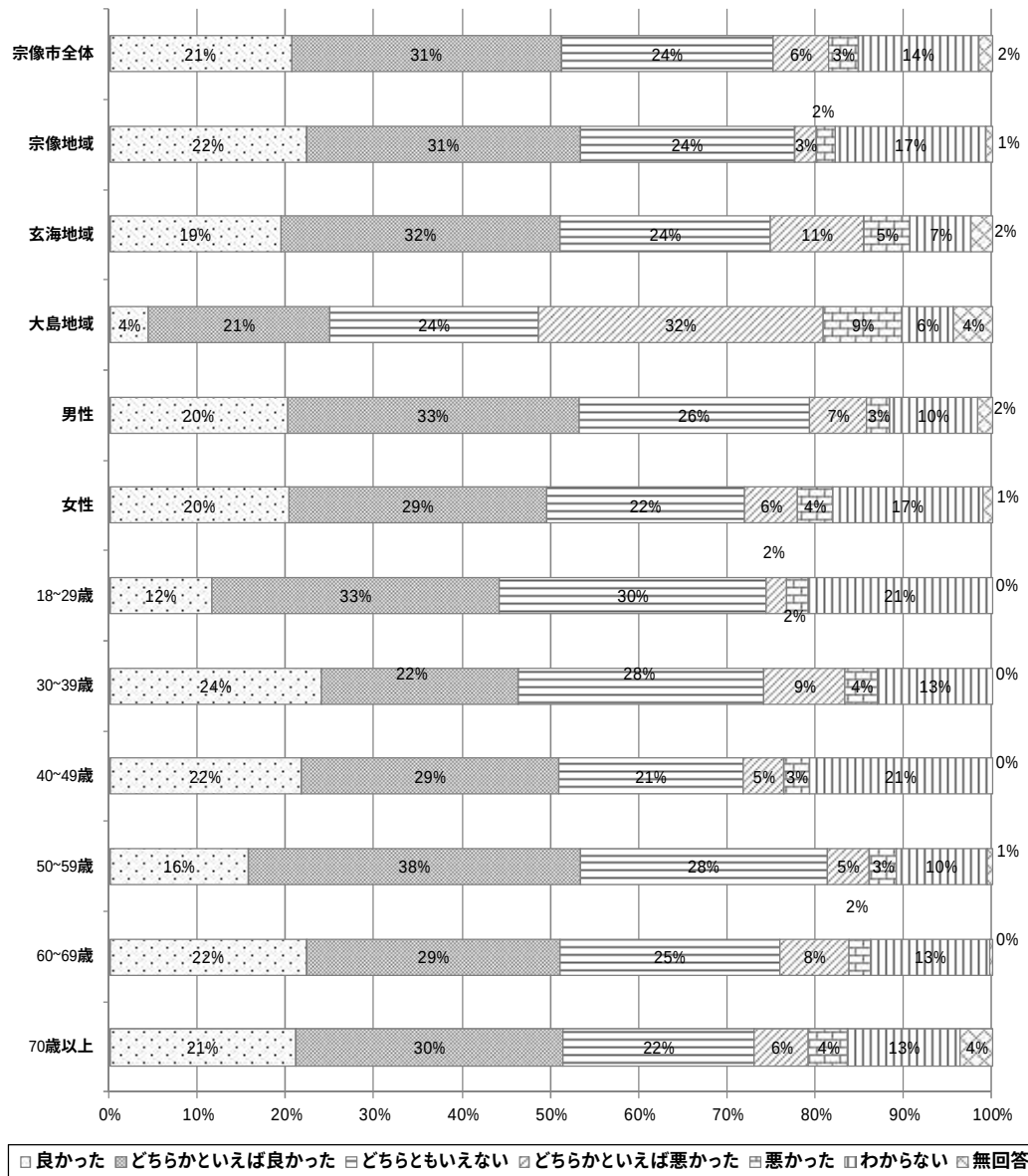


図5 合併して良かったかの評価

合併して良かったかについて市全体で見ると、「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合は52%となりました。特に、大島地域では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が25%となり、他地域より低くなりました。また、年齢別で見ると、18歳～29歳では「良かった」「どちらかといえば良かった」と回答した割合が45%となり、他年齢より低くなりました。

問4-(1)具体的な理由

■宗像地域（147件）

【効果的、効率的な行政経営】

（肯定的な意見）

- ・合併したことで市の行財政基盤が強化され、住民への行政サービスも良くなっている。
- ・職員数、議員定数が削減できた。
- ・玄海町や大島村は、人口も少なく経済発展等限度があったと思われたが、宗像市と合併する事により効率的な行政運営や社会基盤の整備が可能になり良かったと思う。
- ・議員定数削減や公共施設の統廃合などムダを省いた点は評価されると思う。

（否定的な意見）

- ・地域のことを実感して発言していた市議員が減らされたことで、市民の声を細かく取り上げられる場が減った。
- ・きめ細かい行政ができていないのではないか。
- ・何もかも計りにかけて無くしてしまうのはとても残念である。

【市民協働のまちづくり】

（肯定的な意見）

- ・一つ一つ市民と考え、意見を出し合って行われている。
- ・コミュニティ活動を通じて、地区内のつながりが出来たと思う。
- ・活力ある宗像市になるように、市民が努力するよう地域で頑張っていきたい。

【世界遺産登録活動】

（否定的な意見）

- ・女人禁制の沖ノ島の世界遺産登録は無理がある。
- ・市民一帯となつての取組みが感じられず、行政側の一方的な活動になっていないだろうか。
- ・一部の人々でやっていて、夢のような話になっている。
- ・沖ノ島を世界遺産にして何かメリットがあるのか。

【子育て環境の充実】

（肯定的な意見）

- ・自然があふれ、子育てする環境にとっても適した魅力的なまちになったと思う。

【都市基盤の整備】

（肯定的な意見）

- ・玄海地域の施設や道路などが整備されているのが良い。

(否定的な意見)

- ・街灯が消えたまま暗い。
- ・変わったのは赤間駅前だけ。
- ・旧市内の景観、特に旧3号線沿いの整備がされていない。

【産業の振興】

(肯定的な意見)

- ・道の駅や宗像大社等、旧宗像市にはない自然や海の幸が対外的にアピールできる。
- ・商工会等も玄海、宗像とわかれることなく和気あいあいと、事業も進められている。
- ・海あり神社あり、島あり楽しいことこの上なし。
- ・小学校で大島のうみんぐに行き、いろいろな体験をさせて頂ける。
- ・海、山、川等の自然や歴史文化遺産を生かしたまちづくりで観光対策が可能となった。
- ・玄海地域、大島村の地域資源の掘り起し、地域の活性化に寄与できたと思う。

(否定的な意見)

- ・道の駅は午後には品物がない。
- ・うみんぐ大島はお金がかかりすぎて遊びにいけない。
- ・企業の活性化が行われていない。
- ・赤間駅周辺の野菜や果物等の個人商店等が消えてしまった事に淋しさを感じる。

【生活環境】

(肯定的な意見)

- ・玄海町の人たちがメイトムなどに来やすくなったのではないと思う。
- ・ふれあいバスなどができてとても良かったと思う。

(否定的な意見)

- ・上下水道料金が相変わらず高い。
- ・交通の便が良くない。
- ・人口が増えたが為に事件等も増えたのではないか。

【その他】

(肯定的な意見)

- ・みあれ祭の前夜祭で花火大会を実施するなど、一体感を形成する催しと感じた。
- ・宗像の知名度が上がった。
- ・ゴミ、水資源、観光、農業、ショッピングと調和の取れた地域であり、住みやすく、明るく、県内でもトップではないかと思う。
- ・住宅都市の側面と、歴史的な地域の側面が融合することで市の深さが増した。
- ・宗像市としての自然や文化の幅が広がり、とてもすばらしい。
- ・新市政10周年記念、ユリックス25周年記念のイベントはしびれるくらい素晴らしい

いものであった。

(否定的な意見)

- ・宗像市は特徴がない。
- ・先住者と団地住民との交流面に大きな溝を感じる。

■玄海地域（48 件）

【効果的、効率的な行政経営】

(肯定的な意見)

- ・町役場と市役所では対応が違い、市役所の方が対応がいい。
- ・玄海町時代より包括的に支援やサービスが行われていてよかった。
- ・職員の資質が良くなった。

(否定的な意見)

- ・無駄が多い。

【市民協働のまちづくり】

(肯定的な意見)

- ・公共機関の組織活動が眼に見えて活発化し、民主化が一段と進んだと感じている。

(否定的な意見)

- ・コミュニティ・センターができてからは、区長の用事が多くなり区長を引き受ける人がいなくなった。

【世界遺産登録活動】

(否定的な意見)

- ・世界遺産ともなれば何か変わることがあるのか。
- ・住民感情としては、世界遺産を目指す誇れるまちとはなっていない感じがする。

【都市基盤の整備】

(肯定的な意見)

- ・歩道が整備され子供達が安全に利用できている。

(否定的な意見)

- ・池野周辺は不便である。

【産業の振興】

(肯定的な意見)

- ・道の駅が出来たことが良かった。

【生活環境】

（肯定的な意見）

- ・コミュニティバスの運行をはじめ、交通が便利になった。
- ・ゴミ袋の値段が下がった。

（否定的な意見）

- ・コミュニティバスが遠回り。

【その他】

（否定的な意見）

- ・行政が身近でなく、遠くの感がぬぐえない。
- ・人通りがない。

■大島地域（12 件）

【効果的、効率的な行政経営】

（肯定的な意見）

- ・無駄な事業が廃止、統廃合されて、必要な事業が行われ始めた。

【世界遺産登録活動】

（否定的な意見）

- ・島民にとっては、沖ノ島は信仰の対象であり、厳かに信仰してきた者にとっては、世界遺産見学ツアーや世界遺産登録活動の推進により、まちの一体感を形成するのは違和感がある。

【都市基盤の整備】

（否定的な意見）

- ・大島の大きな通りは綺麗にされているが、小さな道路はまだ整備されていない。

【産業の振興】

（否定的な意見）

- ・魚場、漁師が減った。

【その他】

（否定的な意見）

- ・釣り客のマナーが悪く、大島はごみの山となっている。
- ・過疎が急速になった。
- ・以前より不便さを感じるが多々あり、活性化として行われる事が住民の望まない事であったり、おしつけに感じたりする事もある。

- ・島の良さが失われた気がする。

■地域不明（3件）

【その他】

（肯定的な意見）

- ・宗像市が発展した成果が出たと思う。

（否定的な意見）

- ・医療面に不安がある。

市民アンケート調査票

(白紙)

合併後 10 年間のまちづくりに関する 市民アンケートのお願い

～皆様のご意見をお聞かせください～

※このアンケートは、合併以前から現在の宗像市内にお住まいである 18 歳以上の方の中から無作為に抽出した 3,000 人の方を対象に実施しています。

日頃から市政に、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成 15 年の旧宗像市と玄海町との合併から 10 年、平成 17 年の宗像市と大島村との合併から 8 年が経過しました。

この間、旧市町村ごとに提供されていた行政サービス等を統一するなど、地域の一体的なまちづくりを進めるとともに、旧市町村が有していた魅力や強みを活かした発展的なまちづくりに取り組んできました。

そこで、合併後 10 年間のまちづくりについて市民の皆さんの生活実感に基づくご意見をお伺いし、合併の効果を検証することで、今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

同封の資料は、合併後のまちづくりや合併に伴う財政的なメリットについて取りまとめた資料です。この資料をご覧ください、合併後のまちづくりについてのあなたのお考えをお聞きかせください。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

宗像市長 谷井 博美

- このアンケートに関して、宗像市役所からお電話でお問い合わせしたり、調査員が訪問したりすることはありません。
- このアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。
- **12 月 13 日（金）までに同封の封筒に入れて、投函してください。**
- **記名不要、切手不要です。**

【問い合わせ先】

宗像市役所 経営企画部 経営企画課

TEL 0940-36-1192（直通） FAX 0940-37-1242

E-Mail kikaku@city.munakata.fukuoka.jp

担当 赤田、中村

【ご回答にあたって】

1. このアンケートは、合併後 10 年間のまちづくりについて検証するため、あなたのお考えをお聞かせいただくものです。
2. 封筒のあて名のご本人がご記入ください。
※この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、身近な方が代わりにお答えください。
3. お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、個々のアンケート用紙を外部に公表したり、本調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。
4. ご回答いただいたアンケート用紙は、同封の封筒に入れて、**12 月 13 日（金）**までにポストに投函してください。**（記名不要、切手不要です）**

《あなた自身についておたずねします》

① あなたの性別であてはまる番号に○をつけてください。

- | |
|-------------|
| 1 男性 |
| 2 女性 |

② あなたの年齢であてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1 | 18～29歳 |
| 2 | 30～39歳 |
| 3 | 40～49歳 |
| 4 | 50～59歳 |
| 5 | 60～69歳 |
| 6 | 70歳以上 |

③ あなたがお住まいの地区を**1つ**選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|----|----------|
| 1 | 吉武 |
| 2 | 赤間 |
| 3 | 赤間西 |
| 4 | 自由ヶ丘 |
| 5 | 河東 |
| 6 | 南郷 |
| 7 | 東郷 |
| 8 | 日の里 |
| 9 | 玄海（地島除く） |
| 10 | 玄海（地島） |
| 11 | 池野 |
| 12 | 岬 |
| 13 | 大島 |

④ あなたの職業であてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 自営・経営者（農林漁業含む）
- 2 民間企業・官公庁などの勤務者
- 3 パート・アルバイト
- 4 主婦（夫）
- 5 学生
- 6 特に仕事はしていない
- 7 その他（ ）

《合併後 10 年間のまちづくりについておたずねします》

問 1 合併後の新宗像市では、合併前の旧市町村が有していた資源や強みを活かし、合併後のまちづくりに取り組んできました。

合併後 10 年間のまちづくりについてあなたはどのように感じますか。(1)～(10)までのそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

項 目 (10 年間の主な取組み)	良 か っ た	ど ち ら か と い え ば 良 か っ た	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 悪 か っ た	悪 か っ た	わ か ら な い
(1)効果的・効率的な行政経営に関する取組み - 職員数 91 人削減・議員数 25 人削減や公共施設の統廃合などの行財政改革（平成 17～21 年度の累計効果額 57 億円、平成 22～24 年度の累計効果額 25 億円） - 住民票交付サービス等住民サービスの充実（住民票の即時交付箇所が 4 ヶ所から 14 ヶ所へ） など	1	2	3	4	5	6
(2)市民協働のまちづくりに関する取組み - 市内全地区のコミュニティ・センターの整備 - 市民団体等が行うまちづくり活動への助成（10 年間で延べ 282 件） - 市民参画に関する条例の制定 など	1	2	3	4	5	6
(3)生涯学習の推進に関する取組み - 市民活動交流館や海の道むなかた館の開館 - 市内 3 大学と設立したむなかた協働大学の開校 - 市民図書館の 3 館 1 分室での運営（中央館、深田分館、須恵分館、久原分室） など	1	2	3	4	5	6
(4)世界遺産登録活動に関する取組み 「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」による市民参加型ミュージカル「宗像三女神記」など市民協働での登録活動の推進 - 国内外の専門家による調査研究の実施とユネスコ世界遺産委員会への推薦書提出の準備 - 世界遺産講座・バス見学講座の実施 など	1	2	3	4	5	6

項 目 (10 年間の主な取組み)	良 か っ た	ど ち ら か と い え ば 良 か っ た	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 悪 か っ た	悪 か っ た	わ か ら な い
(5)子育て環境の充実に関する取組み - 子ども基本条例の制定、子どもの権利救済機関の設置 - 保育所定員の増加（810 人から 1,300 人へ） - 学童保育での土曜日の開所時間の延長 - 乳幼児医療費助成対象を小学 6 年生まで拡大 など	1	2	3	4	5	6
(6)学校教育の充実に関する取組み - 中学校区での小中一貫教育の推進 - 全校へのパソコン教室の整備 - 全校での給食実施と自校式調理の実施（大島地区除く） - 心の相談員・スクールカウンセラー等の配置 - 玄海小学校の建替え、小中学校の耐震補強、校舎改修 など	1	2	3	4	5	6
(7)都市基盤の整備に関する取組み - J R 赤間駅周辺整備、J R 東郷駅前広場整備への着手 - 市道の整備（くりえいと周辺など） - 県事業への働きかけ（さつき橋架け替え、尾園踏切高架工事） - 下水道の整備（玄海地区整備率 20.5%が 80.5%へ） - 玄海地域都市計画の策定 など	1	2	3	4	5	6
(8)産業の振興に関する取組み - 道の駅むなかたの開館 （年間来館者数 160 万人、年間売上げ 16 億円） - うみんぐ大島の開業（年間来場者数 2 万人） - 農産物直売所かのこの里の整備 - 企業の誘致、ハローワーク誘致 など	1	2	3	4	5	6
(9)生活環境に関する取組み - ふれあいバスとコミュニティバスの充実 （バス停が 60 ケ所から 293 ケ所へ） - 防災情報を携帯電話や屋外スピーカー等へ発信する「緊急情報伝達システム」の運用開始と、各地区の避難所の整備 - 水道料金の平均 7.66%の値下げ実施 など	1	2	3	4	5	6

項 目 (10 年間の主な取組み)	良 か っ た	ど ち ら か と い え ば 良 か っ た	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 悪 か っ た	悪 か っ た	わ か ら な い
(10) 合併後 10 年間のまちづくりについて、総合的にどのよう に感じますか。	1	2	3	4	5	6

問 1-(1) 問 1 の質問での具体的な理由がありましたら、ご記入ください。

《続いて、合併による影響についておたずねします》

問 2 合併後の行政サービス全般について、普段のあなたの生活の中でどのように感じていますか。あてはまるものを 1つ 選び、番号に○をつけてください。

- 1 良くなった
- 2 どちらかといえば良くなった
- 3 変わらない
- 4 どちらかといえば悪くなった
- 5 悪くなった
- 6 わからない

問 2-(1) 問 2 の質問での具体的な理由がありましたら、ご記入ください。

問3 合併後、市内全地区でのコミュニティ・センターの整備や、旧市町村間での均衡の取れた発展、市民が一体となった世界遺産登録活動の推進により、まちの一体感を形成する取組みを進めてきました。

あなたは、宗像市としてのまちの一体感が、住民の間で形成されていると思いますか。あてはまるものを**1つ**選び、番号に○をつけてください。

- 1 形成されていると思う
- 2 どちらかといえば形成されていると思う
- 3 変わらない
- 4 どちらかといえば形成されているとは思わない
- 5 形成されているとは思わない
- 6 わからない

問3-(1) 問3の質問での具体的な理由がありましたら、ご記入ください。

--

問4 あなたは、合併して良かったと感じていますか。

- 1 良かった
- 2 どちらかといえば良かった
- 3 変わらない
- 4 どちらかといえば悪かった
- 5 悪かった
- 6 わからない

問4-(1) 問4の質問での具体的な理由がありましたら、ご記入ください。

--

ご協力、ありがとうございました。

【地区一覧表】

アンケート3ページ③「あなたがお住まいの地区」に含まれる自治区の対照表です。
お答えになる際に、参考にしてください。

地区名	該当自治区
吉武	山附、安ノ倉、吉留、中ノ尾、向口、城南ヶ丘、武本、久戸
赤間	赤間、石丸、富地原、名残、徳重、田久、陵巖寺、三郎丸団地、葉山、緑町、桜、広陵台一丁目、広陵台二丁目、広陵台三丁目、広陵台四丁目、広陵台五丁目、マンション赤間一区、桜美台、栄町
赤間西	三郎丸、土穴、城ヶ谷、赤間ヶ丘一区、赤間ヶ丘二区、城山、大谷、泉ヶ丘一丁目、泉ヶ丘二丁目、マンション土穴一区、マンション土穴二区
自由ヶ丘	自由ヶ丘第一区会、自由ヶ丘第二区会、自由ヶ丘第三区会、自由ヶ丘南第一区会、自由ヶ丘南第二区会、自由ヶ丘南第三区会、自由ヶ丘南第四区会、青葉台一丁目、青葉台二丁目
河東	平等寺、畑、本村、横山、須恵、稲元、河東、福崎、ひかりヶ丘入口、池浦、ひかりヶ丘、城西ヶ丘、平原、中央台、天平台、樟陽台、くりえいと
南郷	昼掛、朝町、野坂、大穂町、大穂、王丸、光岡、原町、宮田、曲、後曲、朝野、東旭ヶ丘
東郷	久原、東郷村、東郷町、田熊町、田熊、平井、大井、三倉、用山、釈迦院、村山田、大井台、和歌美台、大井南
日の里	日の里一丁目、日の里二丁目、日の里三丁目、日の里四丁目、日の里五丁目、日の里六丁目、日の里七丁目、日の里八丁目、日の里九丁目、日の里公団住宅一区、日の里公団住宅二区、日の里公団住宅三区
玄海 (地島除く)	多礼、田島、深田、牟田尻、山ノ上、吉田、荒開、五月ヶ丘、下東、上中、段天、江口、神原
玄海 (地島)	泊、豊岡
池野	池田一、池田二、池田三、田野一、田野二、桜町、大王寺ニュータウン、玄海ニュータウン、公園通り、下大・南ヶ浦
岬	上八一、上八二、上八三、西町、中町、北町、千代川、祓川、京泊東、京泊西
大島	宮崎、東、堂ノ前、町、西、谷

宗像市合併10周年記念シンポジウム 宗像とことんトーク

開催報告書



平成26年2月
宗像市

◆開催概要		P.127
◆第2部トークライブ		P.128～129
◆第3部ワールドカフェ		P.130
◆参加者記入コメント （子ども・教育） （コミュニケーション） （人・場づくり） （市への提言） （社会づくり） （個人行動） （その他）		P.131～P.139

開催概要

- ◆開催名称 宗像市合併10周年記念シンポジウム“宗像とことんトーク”
- ◆主 催 宗像市
- ◆開催日時 平成25年12月7日(土) 13:00～17:00 ※受付開始12:30
- ◆開催場所 宗像ユリックス・イベントホール
- ◆内 容 平成15年度の旧宗像市と玄海町との合併から10年、その後の大島村との合併から8年が経過。合併後の宗像市のまちづくりを振り返り、また、ゲストが語るさまざまな話題をヒントにして、まちのこれからについて市内外からの参加者との語り合いを行った。

◆プログラム

第1部 13:00～13:15 <15分間>

宗像市長講演「宗像市が進めてきた10年間のまちづくり」

谷井 博美(宗像市長)

第2部 13:20～14:50 <90分間>

トークライブ

これからのまちづくりについて、ゲストの豊富な経験や多角的な視点を交えながら対話するトークライブ

【ゲスト】豊田 庄吾 氏(公営塾隠岐国学習センター長)

石橋 裕子 氏(NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会理事長)

トコ 氏(コラムニスト)

松永 年生 氏(宗像ユリックス館長)

谷井 博美

【進行役】山口 覚 氏(津屋崎ランチ代表)

第3部 15:00～17:00 <120分>

300人ワールドカフェ

トークライブのゲストと参加者の皆さんでテーブルを囲み、これからのまちづくりについて語り合う。

※ワールドカフェとは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、自由に意見を出し合う話し合いの手法。

【進行役】田坂 逸朗 氏(マーケティングプロデューサー・ファシリテーター)

◆参加者数 229人

◆参加者内訳

県名	市町村名	参加人数	県名	市町村名	参加人数	県名	市町村名	参加人数
福岡県	宗像市	129	福岡県	糟屋郡	3	長崎県	平戸市	15
	福津市	9		糸島市	3		東彼杵郡波佐見町	1
	福岡市	9		鞍手郡	3		雲仙市	1
	大牟田市	8		直方市	2		佐世保市	2
	北九州市	7		朝倉郡筑前町	2	佐賀県	杵島郡白石町	2
	宮若市	6		田川郡川崎町	1		唐津市	1
	古賀市	5		三井郡大刀洗町	1	大分県	大分市	1
	柳川市	4		飯塚市	1			
	筑紫野市	4	岡山県	倉敷市	1	東京都		2
						フェイスブック		6

第2部トークライブでは、「これからのまちづくり」をテーマに、ゲストの豊富な経験や多角的な視点を交えながら対話が進められました。

参加したゲストからは次のような意見が述べられました。

◆豊田 庄吾 氏（公営塾隠岐國学習センター長）

- ・島では特に、地域と接する機会が多くあり、地域に育てられていると感じる子どもが多くいる。そのため、将来は地域に戻り、地域のために頑張りたいと思う子どもが増えているように感じるとともに、とても重要なことではないだろうか。
- ・一番大事なことは、大人や子ども問わずすべての人が当事者意識をもつことである。
- ・宗像市を元気にしたいと思える人を育成する学び舎を、地域の方々と一緒にやっていきたい。

◆石橋 裕子 氏（NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会理事長）

- ・地域で行う学童保育は、第三者機関として行政がしっかり関わっていくことが大切である。
- ・宗像市の新しい付加価値として、デンマークから学ぶことができる「不安がないまち」ということを意識してはどうだろうか。
- ・「あなたはどうか？」という問いを宗像市全体に広げ、その問いを話すことができる、聞いてあげることができる場所をつくりたい。

◆トコ 氏（コラムニスト）

- ・社会全体で子どもの育ちを支えていくことが大切である。
- ・子どもを子ども扱いしないことが、親のスタンスとして必要である。
- ・宗像市の誇りを見つけ、宗像市に住んでいることを胸を張って言えるようなまちにしていきたい。

◆松永 年生 氏（宗像ユリユクス館長）

- ・大人が子どもに本物を体験させることが重要である。
- ・子育て世代に対する魅力として、宗像市の子育て支援が充実していることをアピールする必要がある。
- ・今よりももっと磨いた宗像を次の世代に残していくことが、大人の責任である。

◆谷井 博美（宗像市長）

- ・子育ての原点に返り、地域の子どもは地域で育てていくことが大切である。これを実現するためには、コミュニティの力が重要になってくる。
- ・行政、地域、家庭が関わりながら、子どもを健全に育成していくことが、将来の宗像市を支える人をつくることにつながるのではないだろうか。
- ・都市間競争が激化するなか、多くの人が住みたいと思えるような宗像市が光り輝くまちになるように取り組んでいきたい。



第2部トークライブ

第2部ゲスト：豊田 庄吾 氏



第2部ゲスト：石橋 裕子 氏



第2部ゲスト：トコ 氏



第2部ゲスト：松永 年生 氏



第2部進行役：山口 寛 氏



宗像市長 谷井 博美



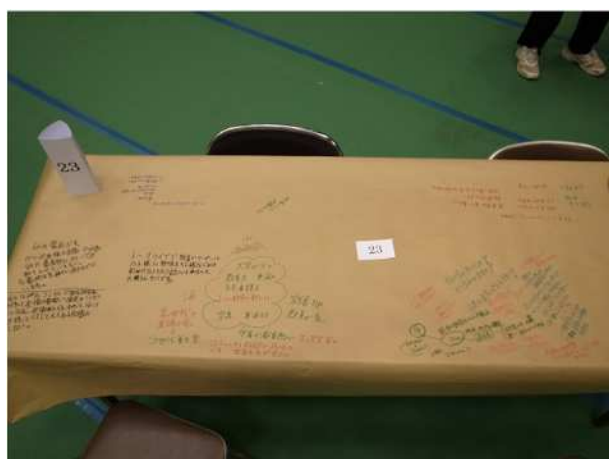
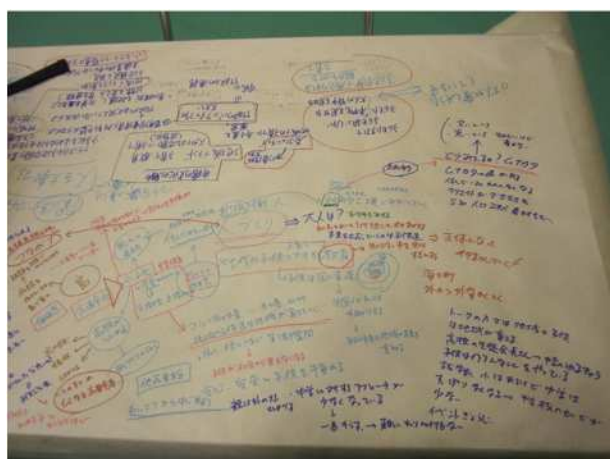
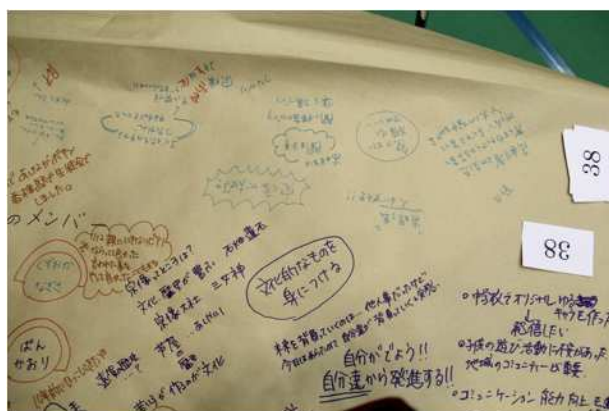
第3部ワールドカフェ

第3部ワールドカフェでは、1テーブル4人程度のグループに分かれて、「トークライブで感じたことや学んだことをこれからどう活かすか」というテーマで語り合いました。

席替えを繰り返すことで様々な参加者同士の語り合いが生まれ、参加者は新たな発見や共感を通じて、それぞれの考えを深めていきました。

ワールドカフェの最後に、「これからやっていきたいこと」、「これからも忘れたくないこと」を参加者に表明していただきました。

参加者の力強い言葉は、次のとおりです。



参加者記入コメント（子ども・教育）

No	参加者記入コメント（子ども・教育）
1	この心親知らず
2	親→地域→学校 三位一体
3	大人⇄こどもの関係をつくる
4	こどもは地域で育てよう
5	宗像市営塾～福教大を軸にした学びのまち そのうち臨時講師しに来ます！
6	子供の声かけから始めよう
7	次世代リーダー育成 花によるまちづくり 宗像に戻りたいか！ 学童保育充実
8	教育が大事 一生学び続ける
9	教育力
10	文教区としてレベルの高い街にする！（子育てママが住みたい街）
11	地域で行う学力向上活動 学力の高いまち⇒居住区選択の条件（奥さまの意見）
12	学力の街ムナカタ 塾や福教大と協力して公民館で勉強を教え、学力の底上げをする 基本的なことがしっかりできるクラスがのびる⇒地域の協力が必要
13	自分（子供）の未来と地域の未来を重ねる子育て！
14	こどもは自分で育つ！大人を見て育つもんである 地域で子どもを育てる こどもが地域に戻れるようにまずは私から！
15	子供は頑張っています 子供の声を聴きましょう 大人の勝手な思い込みはやめましょう 子供の教育は親の1年365日の生活ぶりです 子供は見て育つ
16	次の10年住みたいまち 子供が元気に育つまち
17	①地域で子どもを育てる②雇用の創出
18	子どもはまちの宝です
19	大人の姿、多様な価値観、地域の力
20	学力の全体的底上げ
21	こどもは未来!! 大人たちつうながろう。地域で人と人をつなぎます
22	地元を愛する人を増す 子どもの「想」を実現する 形として残す
23	”大人と子どもの関連”そしてアピール
24	子どもに歴史を伝える機会を・・・
25	故郷、他人、自分を大切にすることを養う、養わせる
26	地域密着 まずは参加をする 子供は財産
27	子供は地域の宝！ 私も地域の為に何かを残すぞ！
28	子供を中心にしたコミュニティの創生
29	子供は宝だ！今からは人間力をつけた人材を地域で育成することが大事 そのために宗像市に「ホメゲー」を広げていく！
30	子どもを子ども扱いしない！

参加者記入コメント（子ども・教育）

No	参加者記入コメント（子ども・教育）
31	かわりを！（地域、子ども）→地域愛（組織力UP） 当事者意識を高める
32	地元愛をもった熱い人間 1.育てる・・・小中一貫時代の教育 2.探す・・・面白い取組をしてる人材はたくさんいる（ベクトルを合わせる） 行政の役割・・・現状を分析し、市民に判断材料を提供。何をすべきかを提案する。
33	実際に大人が動き子どもに行動をみせる事！
34	私は子どもたちに役立つ大人でありたい。そんな大人の輪をひろげ宗像の未来づくりにとりかかりたい。
35	高齢者もまだやることもあるよ！！ ・子育て ・人をつなぐ ・おせっかい
36	子ども達にたのしんでいる「SENAKA」を見せる
37	大人が子供に話しかける！
38	・城山中 ツタやん（中学生独自に作り活動）→このパワー ・地域を育てる ・大人が見守り育てる役目→若者の出現 ・おとなのかくご
39	子どもでつながる関係づくり
40	・子どもの居場所づくり ・団地再生（宅地集約、グループホーム、支援組織）
41	子の養育費1人3万～5万 “子の無い人は年金もらえないよ” 子供を安心して生める様に
42	地域との接点のない子供たちを救え！！ 制度の手薄な中学生を重点的に。
43	子供達へのかかわり方 家族、地域によって見守り育てる。一人一人を大切に！！
44	地域で子育て。 子を育てることは親育て（自分が育つ）だと思う。

参加者記入コメント（コミュニケーション）

No	参加者記入コメント（コミュニケーション）
1	人づくり、地域づくりはあいさつから
2	あいさつで地域をつくる
3	地域が人を育て、育った人が地域を育てる！！明日からおせっかいオジチャン、オバチャンになろう。
4	知る→面白くなる→愛着がわく→教えたくなる⇒地域を愛する、地域が盛り上がる、地域が深まる たくさん知ってたくさん交流しよう！
5	話す
6	人とつながる
7	地域活動に参加
8	人との触れ合い
9	コミュニケーションが大事
10	コミュニケーションが大切
11	話す場
12	誰かとつながりたい
13	早く家に帰り午後8時までには家族と夕食を済ます
14	話す
15	人と人との壁を超える。間としてのコミュニケーション。
16	話を聴こう！！
17	“市民の目線で街づくり”宗像の市民全体が家族になりコミュニケーションを深めて行くスタイル！
18	資源は人！！人と人をつないで地域を活性化しよう！！
19	みんなつながりたい 「対話する」 まずはじぶんから！→不安がないというマチへ
20	・人のつながり ・当事者意識を持つ
21	地域に出ていくコミュニケーション
22	地域活動への参加
23	関わる

参加者記入コメント（人・場づくり）

No	参加者記入コメント（人・場づくり）
1	新しいコミュニティ（祭）をつくる
2	つなぐ場づくり
3	みんなでいろんなことを話せる場を設定する　これで課題が見えてきて解決の糸口が見つかる
4	場　きっかけ
5	お隣さんとの対話
6	世代を越えた「地域愛の語らい」の継続！
7	地域コミュニティの強化
8	人がつながる場づくり
9	宗像を愛する魅力ある人達が場づくりを沢山する
10	市民のみんなが気軽に集える場作り　（環境を基に仕組づくり）
11	まちづくりは自分の為にする！　「他人の為にすることではない」
12	帰ったら上下横の友達の会話の場をつくる
13	地域のみ力は　人のみ力
14	グローバルな人材を育てる
15	人力
16	町のことを考えるリーダーの存在
17	人材の活用
18	住んでる人がその町のファンになる！ファンをふやす！（人財づくり）
19	地域に働く場所を作り出す人材育成
20	次世代リーダーをつくる塾
21	当事者意識　人を育てる
22	魅力ある大人が増えること
23	団地再生　「人」
24	「人づくり」
25	社会に貢献出来る社会人を育てる
26	なにか人をひきつける魅力のある人を発掘し、その人から地域をよりよくしてもらう
27	町づくりは人づくり〈対話〉
28	主体的に動ける子を（市のために）活動できる人づくり
29	・物事に感心を持つ　・にげない　・熱い人を探す
30	地域をを誇りに思う人を増やす

参加者記入コメント（市への提言）

No	参加者記入コメント（市への提言）
1	離島には新ビジネスを！ 市民、行政でアイデアを形にする
2	ソフト面だけでなくハード面（インフラ）の充実
3	宗像に在るものを誇りにしよう。宗像に在るものを宗像ブランドに！風景 歴史 農業 水産 教育 文化 人材
4	美味しい宗像ブランドの確立
5	※1人立つ行動なくして未来なし ①起業・雇用-税収 財源なくして子育てなし 教育-子供-宝 ②平均寿命から“健康寿命日本一” 健康宗像の実現に。金力を尽くし死ぬこと。
6	市長への提案 宗像市出身者で遠隔地（e x. 東京）居住者をまとめる「会合」を組織化されてはどうか。故郷に住む親とのコミュニケーションや地域生産物のあっせんなどにも活用できるし、愛郷にも繋がるのではないか。子育て支援にも。
7	宗像市はどうしたいのか、どうなったらいいのか <提案> ①行政とコミセン、市民が一体となった活動 ②コミセン→地域をよく勉強してアイデアを提供 ③市の財産（貯金）を他の地域の課題にもっと注入すべき ④高齢化と少子化のこれからの課題をもっと議論すべき

参加者記入コメント（社会づくり）

No	参加者記入コメント（社会づくり）
1	共生 おとなも こどもも 若者も お年寄りも 障がいのある方も 共に生きよう！
2	おもいやりのあるマチ お年寄りも ハンディキャップのある方も 子供たちも 女性も 住みやすいマチ
3	子供と高齢者がつながる地域が宗像人をつくる！
4	幼老障共生！
5	宗像市を「出会い」と「笑顔」にあふれるまちに！
6	心地良い空間
7	次世代の目線を活かしたまちづくりを実行
8	年をとっても病気になっても不安のない社会。
9	魅力ある島づくり たくさんの人が訪れる島にしたい
10	幼老共生
11	大人が楽しい宗像
12	あんしんのまち
13	宗像に住んで良かったと言える様な街 年の差をわすれてあそぼう
14	一人ひとりを大切に尊重する姿勢を持続ける
15	いつまでも健康で元気よくすごす！！ 宗像の魅力は、文化と自然、海があること！！
16	共生 協働

参加者記入コメント（個人行動）

No	参加者記入コメント（個人行動）
1	自分が自分の住む地域を背負う。地域とのつながり。
2	宗像の好きなところは？ 1つ自信を持っていえるように！
3	地域の再生は地域への愛から！
4	町（島）を愛する 人を育てる
5	宗像で生まれ育ったことを誇りに思える「マチ」にしたい！！
6	宗像をもっとよく知り誰よりも説明上手になる
7	地域に誇りと夢を！（歴史、文化、農業、漁業・・・） 子どもに語り継ぐ
8	宗像の深いところを知っていく！！ そして伝える！！
9	地域愛
10	自分のまちを好きになる
11	自分の住んでいる場所を愛することが大切！ また、好きだからこそ、そこを離れ周りから見ることも大切！
12	地域の持つ力
13	歴史有る町宗像
14	宗像をもっと知る
15	みつける力をみがく
16	地域に根ざした政治家・教育者になる！夢に向かって学んでいくぞ
17	壁の打破！
18	発信力！！
19	伝波
20	何事も行動力が大切 悩んだときはまず行動してみる その一歩が、一生の大切な出逢いとなって将来を豊かにするための引き出しとなる
21	想い続ける
22	思い込みをなくして何かやりたいことの為に行動すること
23	全ての事を自分の事としてとらえる
24	当事者意識を持つ
25	知る＝愛情
26	せっかくやっている良い取り組みを発信しなければ伝わらない。発信されている情報を「収集」する力も大切
27	宗像の未来のために 宗像の良いものを小中高生にしっかり伝える、積極的にボランティア等活動している市民が多いのもっと生かした施策を、仕事を持つ女性の子育て支援の充実を（子どもを生んでも安心して続けられるように 当事者意識を持って活動したい。
28	宗像ブランド そしてそれをアピールする方法
29	私が地域のためになにができるか
30	まちづくりのリーダーを育てるところがと、地域をひっぱって行ってくれる人が増え、その人たちがいるから住みたい！と思う人が集まってくる

参加者記入コメント（個人行動）

No	参加者記入コメント（個人行動）
31	できることをできないと言わない できないことをできると言わない できることをできると言い、できないことをできないと言う。 「人を信じ、人を頼る力」も自立
32	自分に出来ること 市内の自分の廻りのゴミを拾う 継続 清掃 気持ちいい
33	当事者意識をもつ 花を植える よかとこ宗像！頑張ろう！
34	自ら発信して広げる 自分の近くにも目を向ける 次世代により良いものを残す
35	死ぬまでに、ふるさとのためになにかひとつ残したい
36	大人が楽しむ
37	何か出来る人は表に出よう！
38	当事者意識と善意のすり合わせ
39	地域力（グローバル） 言葉にする！！
40	あせらず一歩ずつ前進する 人の輪を広げていく
41	行動する力
42	地域は人づくり!! 人づくりは人さがし!!すべては”参加”すること、したいこと
43	計画から市民の力を活かす『私の計画』『私の実行』『私の喜び』
44	ネットワークをつくるための情報・情熱発信 地域に出て行く
45	みんなでまちづくり（当事者意識）
46	地域の未来＝自分の未来 重ねる
47	大事なことは「学び合い、議論をしよう」とする姿勢
48	知識と経験は人生の財産
49	自分のために、人のために、地域のために、自分のできることを（ひとつづつでも、小さなことでも）行動する
50	「あなたはどう思いますか？」 私が変わる→周囲が変わる、まちが変わる、未来が変わる！
51	当事者意識
52	主体性
53	地域と地域のつながり 誰かが・・・ではなく、自分が動こう
54	まずは元気に生きること。自分の健康を守り、多くの人々とかかわっていきたい。 やりがいをもって仕事にむきあう。目の前のことだけでなく、自然・伝統、地域のこと、市の産業のことを考えてみたい。
55	自分の為に働き、公の為に

参加者記入コメント（その他）

No	参加者記入コメント（その他）
1	おなじ布団で寝る
2	福岡ー宗像ー北九州 俺らが真ん中!!
3	親せき付き合いしよう。婚活コラボあり。にせしんせきあり。
4	“愛着”いろいろ。
5	本当の魅力

第3部ワールドカフェ

第3部進行役：田坂 逸郎 氏



第3部ワールドカフェ実施風景



第3部ワールドカフェ実施風景



第3部ワールドカフェ実施風景



第3部ワールドカフェ実施風景



第3部ワールドカフェ実施風景





宗像市合併検証報告書

監 修：北九州市立大学 南 博

発行日：平成 26 年 3 月

発 行：宗像市経営企画部経営企画課

〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目 1 - 1

TEL 0940 (36) 1192